

遠州方言（静岡県袋井市）の言語ドキュメンテーションの試み
—電子語彙集の作成—

言語学・応用言語学専門分野

2022（令和4）年度入学

松井文音

2026（令和8）年1月提出

要旨

本論文の目的は、静岡県袋井市方言の語彙を収集・整理し、電子的に保存・公開することである。袋井市方言に関する言語資料は限られており、既存の語彙集は袋井市単独ではなく周辺の遠州地方全域を対象としたものであるほか、インターネット上で体系的に閲覧可能な形では十分に整備されてこなかった。

そこで本研究では、袋井市在住の高齢層話者を対象に聞き取り調査を行い、既存の語彙集から抽出した語彙の認知および使用状況を確認した。その結果、約 260 語の語彙を収集し、語形の揺れや使用状況に話者間で差異が見られることが明らかとなった。本研究で得られた語彙資料は、国際リポジトリ [Zenodo](#) への保存・公開および電子語彙集として整理し、今後の袋井市方言研究における基礎資料となることを目指す。

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. はじめに..... | 1 |
| 2. 対象とする言語..... | 1 |
| 2.1. 静岡県袋井市について..... | 1 |
| 2.2. 静岡県における方言の特徴..... | 2 |
| 2.2. 遠州アクセントの体系..... | 3 |
| 3. 先行研究..... | 4 |
| 3.1. 言語記述と記録保存資料..... | 4 |
| 3.2. 先行研究の課題..... | 5 |
| 4. 調査..... | 6 |
| 4.1. 調査の目的..... | 6 |
| 4.2. 調査対象..... | 6 |
| 4.3. 調査方法..... | 6 |
| 4.3.1. オンライン調査の利点と課題..... | 6 |
| 4.4. 調査資料の整理及び活用方法..... | 7 |
| 5. 調査結果と考察..... | 7 |
| 5.1. 予備調査の結果と改善点..... | 7 |
| 5.2. 本調査の概要と結果..... | 8 |
| 5.3. 語彙の具体例..... | 9 |
| 5.3.1. 語形に揺れが見られた語彙..... | 10 |
| 5.3.2. 話者間で認知に差が見られた語彙..... | 10 |
| 5.3.3. 現在は使用されなくなっている語彙..... | 10 |
| 5.3.4. 先行研究と異なる形・意味を示した語彙..... | 11 |
| 5.4. 語彙使用の実態に関する考察..... | 11 |
| 5.4.1. 語形の揺れと意味共有について..... | 11 |
| 5.4.2. 語彙の保持と個人差..... | 12 |
| 5.4.3. 社会的要因による語彙使用の変化..... | 12 |
| 5.4.4. 先行研究との差異について..... | 13 |
| 5.5. 音声的特徴に関する考察..... | 13 |
| 5.5.1. /n/の挿入..... | 14 |

| | |
|--|-----------|
| 5.5.2. /r/の挿入・促音..... | 14 |
| 5.5.3. 子音の弱化・母音化..... | 15 |
| 6. Zenodo への登録の概要..... | 16 |
| 7. InDIGO (Shimoji 2025) による電子語彙集作成と構成..... | 19 |
| 8. おわりに..... | 20 |
| 参照文献..... | 22 |
| 付録..... | 24 |

1. はじめに

本研究の目的は、静岡県袋井市で話される遠州方言（以下、袋井市方言）の語彙を記録保存することである。具体的には、基礎語彙とその発音、語義、品詞、（可能な限り）例文を収集し、それを国際リポジトリ（Zenodo）に半永久的に保存すること、そしてその保存データへの URL リンクを活用し、より直観的で使いやすい電子語彙集を作成することを目指す。こうして消滅の危機にある方言の保存と継承に貢献することを目指す。なお、Zenodo のリンク¹と作成した電子語彙集の URL²は脚注に記す。

袋井市方言は消滅の危機にある。マスメディアの普及や学校教育における標準語使用の定着により、日常生活において標準語を使用する機会が増加した結果、若年層における方言の使用頻度は低下しており、方言は世代交代とともに失われつつある。しかし、袋井市方言に関する言語記録は十分とはいえず、その記録保存は緊急を要する問題である。現在存在する少数の記録は、「いつでも、誰でも、いつまでも」という言語記録の基本（下地 2015）の点で大いに問題がある。インターネット上で確認できる資料は限られ、全て、市内の図書館や関連施設に所蔵される書籍にとどまっているのが現状である。

本研究では、こうした記録の空白を補う試みとして、言語記録の三点セットのうち「辞書」を作成することを目指す。市内に残る語彙資料や音声データを再整理し、調査過程で得られた情報をもとに袋井市方言の語彙を電子的に公開することで、地域にとって持続的な方言の保存・継承に寄与することを目的とする。

2. 対象とする言語

2.1. 静岡県袋井市について

本研究で扱う袋井市方言は、静岡県西部に位置する湖西市、浜松市、磐田市、袋井市、森町、掛川市、菊川市、御前崎市の 8 市町を含む遠州地方で使用されている方言である。遠州地方は、地理的に東日本方言と西日本方言の境界付近に位置しており、両者の特徴が混在した独自の方言体系を形成している点に特徴がある（富山 2007）。また、遠州地方は静岡県内の中部方言や東部方言、井川方言とは異なる語彙やアクセント体系を有する地域でもある。

¹ Zenodo へのアクセス：<https://zenodo.org/>

² 遠州方言（袋井市）簡易語彙集：<https://michinorishimoji.github.io/ensyuu-matsui2026/>

本研究の調査対象地域である袋井市は、遠州地方の中央下部に位置している。令和7年12月1日時点における袋井市の総人口は87,562人³、高齢化率は27.40%⁴である。比較的高齢者人口の割合が高いことから、地域に根差した方言の使用実態を観察しやすい点で、本研究の調査対象として適していると考えられる。袋井市は以下の図1の着色部分のうち黄色で示した位置である。⁵

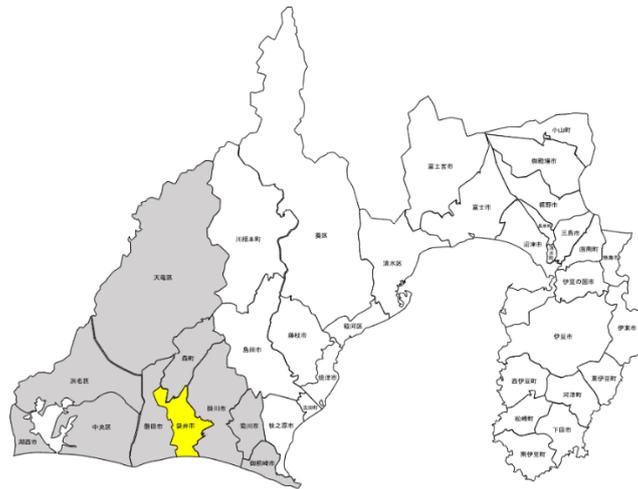


図1. 静岡県遠州地域における袋井市の地図（ハイライト部分）

2.2. 静岡県における方言の特徴

静岡県は東日本と西日本の境界に位置しているが、県内の方言分布は必ずしも均一ではなく、地域ごとに音韻やアクセント体系に差異が認められている。

中條（1983）は、静岡市方言のアクセント体系について分析を行い、三拍一段動詞第二類の「起きる・落ちる…」が頭高型をとる点を除けば、標準語とほぼ同一の体系を示すと述べている。また、静岡県内で東京式アクセントが行われている地域においても、静岡市方言の

³ 「最新の人口・世帯数／袋井市ホームページ」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/8/2/gaiyo/1422534745982.html>（最終アクセス：2026年1月4日）

⁴ 「自治会別推移グラフ（人口推移、世帯数推移、高齢化率推移）／袋井市ホームページ」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/4/2/tokei/jinko/1422625958569.html>（最終アクセス：2026年1月4日）

⁵ 白地図ぬりぬりを用いて筆者が作成（グレー部分は遠州地域の市町を示す）

アクセントと大きな差は見られないものの、地域によって若干の差異が存在し、特に県西部においてその傾向が顕著であることを指摘している。

さらに、山口（1987）も静岡県方言の特徴としてアクセントの問題を取り上げ、特殊アクセント地域を除けば、県内の多くの地域が東京式アクセント方言に属すると述べている。一方で、中遠・西遠および北遠地域については、アクセント体系上の差異が大きく、他地域とは異なる体系として扱う必要性について言及している。

2.2. 遠州アクセントの体系

遠州方言のアクセントは、東京語と同系統の乙種アクセントに属するとされており、特に外輪式乙種アクセントとして分類されてきた（寺田 1970）。しかし、遠州地方内部には中輪式に近い特徴を示す地域も存在することから、遠州アクセントを一律に外輪式乙種アクセントとして捉えることは難しいとされている。

こうした遠州アクセントの内部分布について、中條（1983）は袋井市を含む静岡県西部方言のアクセントを、名詞・動詞・形容詞といった品詞ごとに整理し、東京語のアクセント体系との比較を行っている。以下では、中條（1983）の記述をもとに、遠州アクセントの特徴を概観する。

名詞のアクセントについて、中條（1983）は拍数および語類によって体系的な対立が見られることを指摘している。一拍名詞では、一・二類が平板型、三類が頭高型を示す対立が県内全域で認められる。二拍名詞では、全国共通語は、一類（平板型）／二・三類（尾高下型）／四・五類（頭高型）となっているのに対し、西部地域においては、一・二類（平板型）／三類（尾高下型）／四・五類（頭高型）の三つの対立が主流をなす。さらに三拍名詞では、遠州中西部において、東京語で平板型に属する第六・七類の語が頭高型に発音される例が多く見られる。ただし、「兎・背中・ねずみ」など一部の語では平板型との混同も確認されている。また、東京語では尾高下型に属する第四類の名詞が、地域によっては中高型に発音される例も報告されている。

動詞のアクセントに関しては、二拍動詞では県内全域で一類（平板型）と二類（頭高型）の対立が見られる。三拍動詞については、四段動詞において平板型・中高型・頭高型の三種類が存在するものの、頭高型を欠く地域もあるとされている。一段動詞では地域差が顕著であり、富士川以西の中部・西部地域では、「起きる・落ちる・晴れる」などの第二類動詞が頭高型を取り、平板型（一類）との対立を示す。

形容詞のアクセントについては、二拍形容詞は県内全域で頭高型一型であるとされている。一方、三拍形容詞では、袋井市から浜松市にかけての中西遠地域において、第二類の「白い・高い」などが頭高に発音され、平板型（一類）との対立を示すことが指摘されている。また、第二類形容詞の活用形について、東京語では終止形と連用形で異なる型を取るのに対し、浜松地方では頭高型に統合される傾向が見られる。これらの形容詞アクセントの分布をもとに、中條（1983）は、静岡県内の形容詞アクセントを東京型・中部型・浜松型の三類型に分類している。

なお、遠州地方内部のアクセント型の分布については、研究者間で記述の相違が見られる点もある。例えば、浅羽町の形容詞アクセントについて、中條（1983）は一部地域を中部型としているのに対し、寺田（1970）は袋井市および浅羽町を浜松型に含めている。このような差異は、調査時期や調査地点、話者条件の違いによる可能性が考えられる。

さらに寺田（1970）は、三拍動詞第二類において、全国共通語では同一のアクセント型をとる「動く」類と「建てる」類が、袋井市を含む遠州地方の多くの箇所異なる型に分かれることを指摘している。具体的には、「動く」類が○[○]○型を示すのに対し、「建てる」類は[○]○○型を取り、両者が異なる型の所属となっている。この点は、遠州方言のアクセント体系の特徴を端的に示す重要な指摘である。

3. 先行研究

3.1. 言語記述と記録保存資料

遠州地域の語彙を扱った文献や語彙集は、全国的にアクセス可能な形ではないものの、比較的多く刊行されており、本研究における調査語彙の選定にあたってはこれらの資料を参考とした。本節では、遠州方言の語彙を扱った代表的な文献を取り上げ、それぞれの特徴と課題を整理する。

「遠州の方言考」（浅井 2000）および「おらんとこわっちらんこのはなしことば」（岩瀬 2025）は、著者自身による実地的な収集に基づいて編まれた語彙集であり、日常生活に密着した使用頻度の高い語彙が多く収録されている点に特徴がある。特に岩瀬（2025）は、著者が幼少期から方言探しを行い、長期的に語彙を収集してきたことが明示されており、地域の言語感覚を反映した資料であるといえる。また、同書は袋井市北部に位置する森町の方言を対象としており、本研究で扱う袋井市語彙を考察する上で、貴重な資料である。

一方で、これらの語彙集は特定の地域や話者の経験に基づいて収集されたものであり、調査地点や話者条件が必ずしも統一されていない点には留意が必要である。本研究の予備調査および本調査では、袋井市南部の浅羽地区在住の話者に協力を依頼しており、森町を対象とした岩瀬（2025）の資料とは地域的条件が異なる。このことから、遠州内部における地域差が語彙の分布や使用に影響している可能性があると考えられる。

また、「傑作しぞーか弁」（静岡新聞社 1999）や「えーらしぞーか 静岡県方言誌」（富山 2007）は、静岡県内各地の方言語彙を広く紹介した一般向けの資料であり、地域語彙の多様性を概観する上で参考となる。しかし、これらの資料はいずれも語彙の意味説明を中心としており、調査方法や話者条件が明示されていない場合が多い。

さらに、上記の語彙集に共通する点として、語彙のアクセントや発音といった音声的情報がほとんど記述されていないことが挙げられる。そのため、語彙の意味や用法を知る上では有用である一方で、語彙アクセントの体系的な分析や地域差の比較を行うための資料としては限界がある。

以上のように、遠州方言に関する語彙資料は一定数存在し、地域語彙の記録という点で大きな成果を上げているものの、その多くは地域ごとに点在しており、調査条件や記述形式が統一された形で整理されているとはいえない。本研究では、これらの先行研究を踏まえつつ、調査方法および話者条件を明示したうえで語彙を収集し、さらに語彙アクセントを含めて記録・整理することにより、既存資料の保管を試みる。

3.2. 先行研究の課題

遠州方言のアクセントに関する先行研究では、その体系や分類について詳細な記述が行われてきた一方で、いくつかの課題も指摘できる。

第一に、先行研究の多くは遠州中西部や静岡県西部といった比較的広い地域区分を対象としており、袋井市にのみ焦点を当てた分析はほとんど行われていない。そのため、地域内部におけるアクセントの細かな差異については、十分に明らかにされているとはいえない。

第二に、アクセント体系の分類や東京語との比較に重点が置かれてきた一方で、語彙ごとのアクセントの実態を体系的に記録・分析した研究は限られている。語彙単位でのアクセント調査は、袋井市方言の実態をより具体的に把握する上で重要であると考えられる。

第三に、先行研究では調査地点や話者条件が必ずしも統一されているわけではなく、世代差を明確に意識した分析も十分とは言えない。特に、方言の使用が比較的安定していると考え

えられる高齢層を対象にしたと明記された語彙アクセント調査は少ない。

以上の課題を踏まえ、本研究では袋井市に調査対象を限定し、高齢層話者を対象とした語彙調査を行うことで、袋井市方言の語彙の実態をより詳細に明らかにすることを目指す。

4. 調査

4.1. 調査の目的

本論文の目的は、静岡県袋井市方言の語彙の実態を記録し、体系的に整理することである。特に、語彙単位での使用実態を明らかにするとともに、それらを語彙集という形で電子的にデータを公開することを目的としている。

4.2. 調査対象

本調査では、静岡県袋井市に在住する 65 歳以上の高齢層話者計 7 名を対象に調査を行った。調査対象者は、いずれも長年同地域に在住している話者であり、地域に根差した方言使用の実態を反映した語彙資料の収集を目指す。

若年層においては方言使用の減少が指摘されていることから、高齢者話者を対象とすることで、地域特有の語彙やアクセントに関する言語資料を得ることができると考えた。

4.3. 調査方法

調査は、対面またはオンラインによる聞き取り調査の形式で実施した。基礎語彙の記録を目的としつつ、話者の日常的な語りを引き出すため、インタビュー形式を採用した。

調査にあたっては、事前に調査の趣旨および録音について説明し、協力者の同意を得たうえで音声の収録を行った。収録した音声データをもとに、語彙の発音を記録するとともに、アクセントについても確認を行ったが、本研究では体系的なアクセント分類には至っていない。

4.3.1. オンライン調査の利点と課題

本研究でオンライン調査を採用した理由としては、筆者の居住地と調査地である袋井市との距離が離れていたことに加え、調査協力者側からオンラインでの実施を提案されたことが挙げられる。本研究では、詳細なアクセント分析よりも語彙の収集に重点を置いていたため、音声による会話が成立すればオンライン環境においても調査は可能であると判断した。オン

ライン調査は計2回、各回およそ45分間実施した。

オンライン調査の利点としてまず挙げられるのは、調査者と話者との地理的な距離に制約されることがなく調査を実施できる点である。筆者自身、調査期間中に調査地へ頻繁に赴くことが困難な状況にあったが、オンライン調査を取り入れることで、調査地に直接出向くことなく効率的に語彙資料を収集することが可能となった。

一方で、いくつかの課題もみられた。その一つとして、通信環境の影響により、音声の遅延や途切れが生じる場合がある点が挙げられる。実際の調査では、回線の遅延によって話者の発話と調査者の発話が重なり、語彙の確認が十分に行えない場面もみられた。このような状況は、語彙の聞き取りや確認を行ううえで一定の制約となりうる。

また、高齢層の話者にとって、電子機器の操作やオンラインでの会話自体に慣れていない場合が多い点も課題として挙げられる。本調査では、シルバー人材センターを介して調査を依頼していたため、職員による機器の準備や接続の補助があり、調査自体は円滑に実施することができた。しかし、一般的には高齢層がパソコンやオンライン通話を日常的に使用しているとは言い難く、オンライン調査を実施すること自体が話者にとって心理的・技術的な負担となる可能性がある。さらに、対面での調査と比べて、自然な語りが引き出しにくい場合がある点も、オンライン調査における課題の一つであると考えられる。

4.4. 調査資料の整理及び活用方法

調査によって得られた語彙約260語について、語義や例文とともに整理・分類を行い、語彙集を作成した。これらの語彙資料は、袋井市方言の語彙の記録として整理したうえで、電子語彙集の作成を目指す。

これにより、地域に点在してきた袋井市方言の語彙資料を電子的に公開し、方言の保存および今後の研究利用に資することを目的とする。

5. 調査結果と考察

5.1. 予備調査の結果と改善点

本調査に先立ち、袋井市内在住の高齢層話者計4名を対象に予備調査を実施した。予備調査は2回に分けて行い、調査日および話者の概要は以下の通りである。なお、調査協力者のうち3名については、年齢及び出身地の詳細な聞き取りが行えなかったため、本節では記載を省略する。

【第1回予備調査：令和7年10月20日】

- ・男性1名（1936〔昭和11〕年生まれ、袋井市松原在住）

【第2回予備調査：令和7年10月21日】

- ・男性1名、女性2名（いずれも袋井市在住）

第1回の予備調査では、話者が遠州方言に関する資料を事前に用意していたため、想定していた聞き取り形式ではなく、資料に基づいた聞き取りを行った。その過程で、遠州方言で翻訳された昔話を収録した音声資料を確認することができた。この資料を用いた調査から、当該話者が遠州方言による語りを自然に理解していることが確認された。また、調査の中では、方言使用とあわせて、戦時中や昭和東南海地震に関する体験談も聞くことができ、地域に根差した語りの一端を把握することができた。

第2回予備調査は、話者の都合により短時間での実施となったが、約20語程度の方言語彙について使用の可否を確認した。ここで得られた語彙は、本調査においても話者により使用が認められており、現在は日常的に使用される機会が少なくなっている語彙であっても、高齢層においては一定程度保持されている可能性が示唆された。

以上の予備調査を通して、自由発話のみから方言語彙を十分に引き出すことの難しさが明らかとなった。当初は、標準語の語彙を提示し、それに対する袋井市方言を尋ねる方法を想定していたが、本調査では調査を円滑に進めるため、先行研究として挙げた語彙集からあらかじめ語彙を抽出し、それに基づいて聞き取りを行う方法へと変更した。

5.2. 本調査の概要と結果

本調査では、浅井（2000）、岩瀬（2025）、富山（2007）に基づき、日常的に使用頻度が高いと考えられる語彙を中心に約470語を抽出し、聞き取り調査を行った。本調査における被調査者の概要は以下の通りである。

【本調査：令和7年11月4日／11月11日／12月16日】

- ・女性3名（75歳、80歳、年齢不明）
- ・居住地：いずれも袋井市内

・ 出身地：袋井市および周智郡森町

聞き取り調査の結果、事前に抽出した約 470 語のうち、被調査者によって認知・使用が核になされた語彙に加え、会話の中で新たに確認された語彙を含め、計 263 語を収集した。

本調査で収集された語彙を概観すると、話者間で語形にわずかな差異が見られる例が確認された。例えば、「ゾングリ」と「ゾングラ」（ぞっとするという意味）のように音形に違いが認められる場合があったものの、いずれも使用方法や意味については共通しており、語彙の理解や用法に大きな差は見られなかったものなどである。ただし、調査対象となった語彙のほとんどについては、3 名の話者はいずれも「聞いたことがある」「使ったことがある・現在も使っている」と回答しており、話者間で高い共有性が確認された。

一方で、収集された語彙の中には、3 名のうち 1 名のみが認知している語彙も一部見られ、語彙の使用状況には個人差が存在することが明らかとなった。

また、本調査では日常的に使用されると考えられる語彙を中心に調査を行ったことから、全体のおよそ 9 割程度の語彙について、現在も使用されている、あるいは使用可能であるとの回答が得られた。その一方で、差別的な表現を含む語彙や、現在の生活環境において使用される場面が想定されにくい語彙については、現在は使用しない、あるいは使用を避けているとの回答も確認された。

さらに、一部の語彙については、先行研究に記載されている語形や語義と、話者の実際の発話との間に差異が見られた。例えば、着替えを意味する語として先行研究⁶では「カーチ」と記載されている例が多いが、本調査では、全ての話者が「カエチ」と発話していた。このような差異は、記録時期や調査地点の違い、あるいは地域内部における語形変異を反映している可能性がある。

5.3. 語彙の具体例

本章では、作成した語彙集の中から、話者間で語形に揺れが見られた語彙、話者によって認知に差が見られた語彙、現在は使用されなくなっている語彙、ならびに先行研究と異なる形や意味を示した語彙を取り上げ、具体例として示す。

⁶ 浅井（2000）、岩瀬（2025）

5.3.1. 語形に揺れが見られた語彙

(1) オッカア／オッカサ／オッカチャ【お母さん】

使用状況：3名の話者の間で、「オッカア」を使用する者、「オッカチャ」を使用する者、文脈や状況によって両者を使い分ける者に分かれた。

備考：なお、「オッカサ」については、男性が使用する語形であるという共通認識が話者間で確認された。

(2) ゾングリ／ゾングラ（コク／スル）【ぞっとする】

使用状況：「ゾングリ／ゾングラ」と「コク／スル」の組み合わせが話者ごとに異なっていた。ただし、いずれの組み合わせについても意味理解に差は見られず、いずれも使用可能であるとの回答が得られた。

5.3.2. 話者間で認知に差が見られた語彙

(3) コシャウ【作る】

使用状況：3名の話者のうち1名のみが、過去に使用していた語彙であると説明した。他の2名は、この語について「聞いたことがない」と回答した。

(4) コソクル【修繕する】

使用状況：3名の話者のうち1名が、現在も使用していると回答した。他の2名は、「聞いたことがない」と述べた。

5.3.3. 現在は使用されなくなっている語彙

(5) チンチクリン【背が低い、洋服の丈が足りない状態】

使用状況：「背が低い」という意味で用いられる「チンチクリン」については、差別的な表現として認識されていることから、現在は使用を避けているとの回答が3名すべての話者から得られた。一方で、幼少期には日常的に使用していた語彙であるとも述べられた。また、「洋服の丈が足りない状態」を表す意味でも用いられることがあるが、現在ではその用法についても使用頻度は高くないとの説明があった。

(6) チンバア【びっこを引く人・状態】

使用状況：「チンバア」についても、「チンチクリン」と同様に差別的な表現として捉えられているため、現在は使用していないとの回答が得られた。

5.3.4. 先行研究と異なる形・意味を示した語彙

(7) カーチ／カイチ／カエチ【着替え、代わり】

使用状況：3名すべての話者が、「ソノカーチ（その代わり）」という定型表現を除き、「カエチ」の語形のみを使用すると回答した。

備考：先行研究においては、浅井（2000）および岩瀬（2025）に「カイチ」、富山（2007）に「カーチ」と記載が見られる。一方で、「カエチ」という語形は、『遠州弁講座』⁷にのみ記載されている。一部の先行研究で本調査の結果とは一致しない点があることが確認された。

(8) ゴセツポイ【せいせいした気分だ、むせっぽい】

使用状況：3名すべての話者が、「粉が喉に引っ掛かってむせる状態」を表す意味でのみ使用すると回答した。

備考：岩瀬（2025）には本調査で確認された意味と同様の記載が見られるが、富山（2007）では「せいせいした気分だ」「安楽だ」といった異なる意味が記載されている。

5.4. 語彙使用の実態に関する考察

本調査では、事前に用意した約 470 語のうち、最終的には約 260 語について語彙の認知および使用状況を確認した。収集語彙数は全体の半数程度にとどまったが、話者間での語形の揺れ、語彙の使用状況の個人差、語彙の使用状況の変化、ならびに先行研究と異なる語形・意味を示す語彙が確認された。以下では、これらの結果について、語彙使用の特徴という観点から考察を行う。

5.4.1. 語形の揺れと意味共有について

5.3.1. で示した語形に揺れが見られた語彙については、語形に違いが認められる場合であ

⁷ 「遠州弁講座」 <https://odousa.o.oo7.jp/enshuben/kouza2.htm>（最終アクセス：2026年1月4日）

っても、話者間で意味や使用方法が共通のものである語彙があることが確認された。例に挙げた二種類の語彙を含め、調査でみられた語形の揺れは、いずれも 1~2 文字程度の差にとどまっており、語彙の意味内容そのものに影響を及ぼすものではないと考えられる。このことから、袋井市方言では、語形の多様性が一定程度許容されつつも、意味理解は安定して共有されている語彙が多い可能性が示唆される。

5.4.2. 語彙の保持と個人差

次に 5.3.2. の話者間で認知に差が見られた語彙からは、同じ市内に居住する話者であっても、語彙の使用状況が必ずしも一致するわけではないことが明らかとなった。本調査では、3名のうち2名が周智郡森町出身でありバックグラウンドが類似していることから、方言使用においても共通点がみられると予想されたが、その2名の間においても理解や使用に差が見られる語彙が複数確認された。

このことから、語彙の保持には市町村単位の地域差だけでなく、より細かな出身地や生活圏の違いが影響している可能性が考えられる。また、語彙が使用される場面についても、家庭内で主に用いられる語彙と、公的な場や農産業などで使用される語彙とでは使用状況に差が生じやすいことが示唆される。

以上の結果から、方言語彙の使用は話者個人の生活環境や人間関係、使用域といった要因に左右されるものであり、必ずしも地域全体で一様に共有されるものではないことがうかがえる。

5.4.3. 社会的要因による語彙使用の変化

5.3.3. で示した現在は使用されなくなっている語彙については、時代の変化に伴う社会的評価が使用状況に大きな影響を与えていることが確認された。調査協力者の説明によれば、これらの語彙は幼少期には日常的に使用されていたものであり、当時は差別的な意味合いを持つ語彙が強く意識されていなかった可能性がある。しかし、社会的規範や価値観の変化に伴い、他者に対して使用することが不適切であると認識されるようになったことで、使用を避ける語彙へと変化していったと考えられる。このような語彙は、意味理解が失われたわけではなく、社会的判断によって使用が制限されている点に特徴がある。

このことは、方言語彙の消失が必ずしも世代交代だけによるものではないことを示しているといえ、語彙使用の変化を考察する上で、社会的要因を考慮する必要性を示唆している。

5.4.4. 先行研究との差異について

最後に、5.3.4. で示した先行研究と異なる形式・意味をもつ語彙では、既存の語彙資料と実際の使用状況との間に差異が存在する可能性を示している。特に、岩瀬（2025）は先行研究の中では比較的新しい資料であるが、本調査で確認された語形・意味とは一致しない点が見られた。

この差異は、記録時期の違いによる変化というよりも、調査地点や話者条件の違い、あるいは地域内部における語彙の変異を反映している可能性が高いと考えられる。既存の言語資料は、特定の地域や話者に基づいて記録されたものであり、必ずしも地域全体の語彙使用の実態を網羅しているとは限らない。

以上の点から、先行研究に基づく資料と実際の使用状況との間に差異が生じることが示唆され、調査対象である地域のさらなる細かい選定や話者の選別（年齢や性別など）の必要性が求められる。

以上、本節では袋井市方言の語彙使用について、語形の揺れ、語彙の使用状況の個人差、社会的要因による使用の変化、ならびに先行研究との違いという観点から考察を行った。その結果、語彙の意味が共有されている一方で、使用状況や認知のあり方には話者間で差が見られることが確認された。

これらの結果から、袋井市方言の語彙使用は一様ではなく、話者の生活環境や社会的評価、さらには調査地点や話者条件といった要因に影響を受けている可能性が考えられる。本節で得られた知見は、次節で扱う音声的特徴に関する考察と併せて、袋井市方言の多面的な実態を捉えるための基礎的な視点を提供するものといえる。

5.5. 音声的特徴に関する考察

ここまで、語彙の形態や意味の違いに着目して考察を行ってきたが、本節では調査で得られた語彙を音声的な観点から考察する。収集した語彙を概観すると、語中あるいは語と語の境界における/n/の挿入、/r/の挿入、ならびに子音の弱化や母音化と考えられる発音が確認された。これらの音声的特徴は、袋井市方言の語彙に共通してみられる傾向である可能性がある。本節では、これらの減少について、東西方言の言語的特徴を論じた馬瀬（1977）の指摘を参照しつつ、袋井市方言の音声的特徴との関連について考察を行う。

5.5.1. /n/の挿入

本調査で得られた語彙の中には、標準語に見られる形と比べて、/n/が挿入されている、あるいは/n/を含む形へと変化していると考えられる例が複数確認された。例えば、以下のように発音される例が挙げられる。

- a. キノウ (/kinoo/) →キンノウ (/kinnoo/)
- b. アネ (/ane/) →アンネー (/annee/)

このような/n/の挿入は、語の音の連なりを調整し、発音を円滑にするための変化である可能性が考えられる。

また、馬瀬（1977）は東西方言の相違点の一つとして、「ナクサナイ／ウシナワン」のような打ち消し表現ナイ／ンの対立を挙げている。本調査で確認された/n/を含む形への変化がこの私的と完全に対応するとは言えないものの、ナクサナイ (/nakusanai/) →ウシナワン (/usinawan/) のように、発音のしやすさが音形に影響を与えている可能性がある点では多少の共通性が認められる。ただし、本調査で得られた語彙数は限られているため、これらの現象を体系的に位置づけるためには今後さらなる調査が必要である。

5.5.2. /r/の挿入・促音

また、/r/が挿入されていると考えられる形や、促音を伴う形をもつ語彙も確認された。例えば、以下のような語彙である。

- c. アマス (/amasu/) →アマラカス (/amarakasu/)
- d. イイカゲン (/iikagen/) →イイカラゲン (/iikaragen/)
- e. ウソツキ (/usotuki/) →ウソッコキ (/usokkoki/)

これらの語彙では、標準語形と比べてモーラ数が増加しており、発音上の特徴として捉えられる。このような/r/の挿入や促音化は、語の意味そのものを変化させるというよりも、語のリズムを調整したり、発音の区切りを明確にしたりする可能性がある。また、感情や評価を含む表現において、語感を強める役割を担っているとも考えられる。

馬瀬（1977）は、関東を中心とする子音をていねいに発音する方言、すなわち子音性優位方言の特徴として、促音の挿入や子音性を重んずる傾向が見られることを指摘している。本調査で確認された促音化や/r/を含む形は、このような東日本方言的特徴と共通する側面を有している可能性がある。

一方で、これらの現象が体系的な音韻規則に基づくものであるのか、あるいは語彙ごとに個別に形成されたものであるのかについては、本調査の範囲では明確にすることはできなかった。今後、より多くの語彙や話者を対象とした調査を行うことで、これらの音声的特徴の位置づけを検討する必要がある。

5.5.3. 子音の弱化・母音化

上記の特徴をもつ語彙のほかに、子音の弱化あるいは母音化が生じていると考えられる語彙も確認された。具体的には、以下のような例が挙げられる。

- f. アルク (/aruku/) →アイク (/aiku/)
- g. オトシタ (/otosita/) →オトイタ (/otoita/)

「オトシタ」から「オトイタ」への変化は、西日本方言において広くみられるサ行五段活用動詞のイ音便に相当する形である。語中の子音が脱落し、「イ」の音になるこの変化は、西日本方言における音韻的特徴の一つとして知られており、本調査で確認された例もその延長線上に位置づけることができる。

一方、「アルク」が「アイク」と発音される例については、単純な子音脱落というよりも、/r/音が弱化し、母音へと近づく母音化の過程を経たものと考えられる。このような変化は、子音を明確に保持するというよりも、発音をなだらかにする方向への変化として捉えることができる。

馬瀬（1977）は、東西方言の対立において、西日本方言では子音を弱め、母音を重んじる傾向が見られることを指摘している。本調査で確認された子音の弱化や母音化と考えられる発音は、このような西日本方言的特徴と整合的である可能性がある。ただし、この特徴についても他の音声的特徴と同様に、本調査の語彙に限りがあるため、現時点で一般化することは難しい。

以上、本節では、/n/の挿入、/r/の挿入および促音化、子音の弱化・母音化といった音声的特徴について考察を行った。先行研究で挙げた語彙集に記載のある多数の語彙のうち、これらの特徴を示すものが複数確認されたことから、いずれも袋井市方言の語彙に共通してみられる可能性のある傾向であることが示唆される。また、これらの音声的特徴は、東日本方言の特徴と西日本方言の特徴の双方と共通する側面を併せもっていると捉えることができる。

遠州地域は、先に述べたように地理的に東西方言の境界に位置しており、本調査で確認された音声的特徴も、このような位置づけを反映したものである可能性が考えられる。ただし、本調査では語彙数および被調査者に限りがあり、これらの特徴について体系的な結論を導くには至らなかった。今後は、より多くの語彙および話者を対象とした調査を行うことで、これらの音声的特徴の分布や規則性を明らかにしていく必要がある。

6. Zenodo への登録の概要

本章では、研究データリポジトリである Zenodo の概要と、筆者が作成した資料へのアクセス方法について述べる。Zenodo は、オープンサイエンスの理念のもと、研究成果や研究データを誰でも公開・共有できるようにすることを目的として開発された研究データリポジトリである。Zenodo に登録された資料には永続的識別子 (DOI) が付与されるため、研究資料としての引用や参照が容易になる点も特徴である。

本研究では、これまで主に地域内にとどまっていた言語資料を整理し Zenodo に保存・公開することで、資料へのアクセス性を高め、今後の方言研究や言語資料の再利用・比較研究に資することを目的とした。

筆者が作成した静岡県袋井市方言語彙に関する資料は、以下の手順により Zenodo 上で閲覧・ダウンロードすることができる。

1. Zenodo (<https://zenodo.org/>) へアクセスする。(図 2 参照)

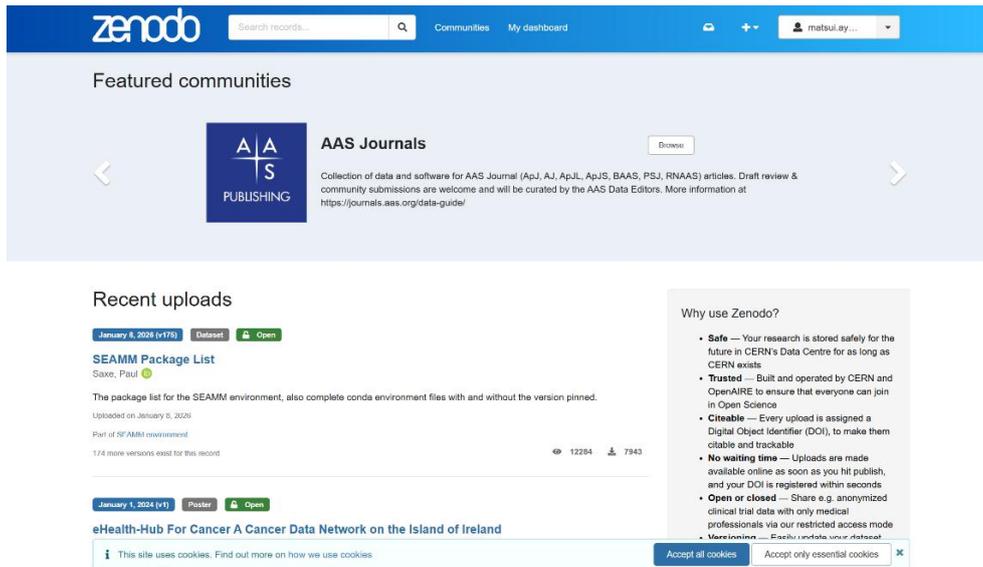


図 2. Zenodo のトップページ（検索画面）

- 画面上部に表示されている検索欄「Search records...」に、「松井文音」または「静岡県袋井市方言簡易語彙集」を入力し、検索を行う。いずれの語句で検索した場合でも、該当する資料は検索結果の最上位に表示される。（図 3、図 4 参照）



図 3. 検索欄に筆者名を入力した場合の検索結果画面



図 4. 検索欄に資料名を入力した場合の検索結果画面

- 検索結果に表示された該当ページをクリックすると、資料の詳細画面が表示される。（図 5 参照）

7. InDIGO (Shimoji 2025) による電子語彙集作成と構成

本研究では、調査によって得られた語彙データを電子的に保存・公開するため、InDIGO (Shimoji 2025) を用いて袋井市方言簡易語彙集を作成した。本章では、作成した電子語彙集の構成および閲覧方法について簡単に説明する。

図7は、本語彙集の検索画面のキャプチャー画像である。本語彙集では、袋井市方言の見出し語から意味を検索することができるほか、標準語訳から方言語彙を検索する逆引き検索も可能である。また、音素表記やIPA表記に含まれるアルファベットからの検索、見出し語の文字列による検索、品詞ごとの語彙の確認など、複数の検索方法を備えている。



図7. 袋井市方言簡易語彙集の検索画面

次に、語彙の記載部分について説明する。図8で示したように、黒字の太字で示されている語が袋井市方言の見出し語であり、その右側に音素表記、IPA表記、品詞、標準語訳の順で情報を掲載している。さらに、先行研究や本調査において用例が確認できた語については、語彙情報の下部に例文とその標準語訳を併せて記載した。

例文部分では、まず袋井市方言の音声表記を示し、その下にグロスをつけた表記、さらに標準語訳を配置している。これにより、語彙の意味だけでなく、実際の使用状況や文中の振る舞いを確認することが可能である。図8は、これらの情報配置を示した語彙記載部分のキャプチャー画像である。



図 8. 語彙記載部分のキャプチャー画像

以上のように、本研究では、袋井市方言の語彙を電子的に整理し、一般的な利用者にもアクセス可能な形で電子語彙集として提示した。

8. おわりに

本研究では、静岡県袋井市方言の語彙の特徴を明らかにすることを目的とし、高齢層話者を対象とした聞き取り調査を行った。特に、これまで十分に整理・公開されてこなかった袋井市の語彙資料を収集・整理し、語彙使用の実態を記録すること、さらにそれを恒久的な記録保存として語彙集の形で整理することを目指した。

調査の結果、語彙の意味理解が話者間で共有されている一方で、語形の揺れや語彙の使用状況には個人差がみられることが明らかとなった。また、現在では使用されなくなった語彙の中には、語彙そのものの消失によるものではなく、社会的評価の変化によって使用が制限されているものが含まれていることが確認された。これらの結果から、袋井市方言の語彙使用は話者間で一様に共有されるものではなく、生活環境や社会的背景、使用される場面など、複数の要因によって左右されている可能性が示唆される。

さらに、本研究では語彙の形や意味だけでなく、音声的な側面にも着目し、/n/の挿入、/r/の挿入や促音化、子音の弱化・母音化といった特徴について考察を行った。その結果、袋井市方言の語彙には、東日本方言的な特徴と西日本方言的な特徴の双方と共通する側面を併せもつ可能性が示された。遠州地域が地理的に東西方言の境界に位置していることを踏まえると、これらの音声的特徴は、地域的特性を反映したものであると考えられる。

なお、本研究では調査方法の一部としてオンラインによる聞き取り調査を実施した。語彙

の認知や使用状況を把握する上では、オンライン調査は一定の有効性を持つ一方で、音声の遅延や音質のばらつきといった制約があり、アクセントの微細な音声的差異を体系的に分析するには必ずしも十分に適した方法であるとはいえない。

本研究の意義は、袋井市という限られた地域に焦点を当て、言語記録を残すため実地調査に基づいて語彙使用の実態を記録した点にある。既存の語彙集や方言資料は、静岡県全域あるいは県西部という広範囲を対象とした研究や、特徴的な方言を有する特定の地域に着目した研究が多く、袋井市における語彙使用の実態や話者の個人差については十分に明らかにされてこなかった。本研究では未着手だった課題に取り組み、袋井市方言の多様な語彙使用の一端を示すものであり、今後の研究に向けた基礎資料の一つとして位置づけられると考えられる。

一方で、本研究にはいくつかの課題も残されている。実地調査において協力を仰いだ話者の数が少数であったこと、また調査によって収集できた語彙数に限りがあったことから、本研究で確認された特徴を袋井市全体の傾向として一般化することが難しいという点である。また、本研究では調査過程において音声データの収録を行ったものの、オンライン調査を含む調査方法の制約や、語彙収集を主目的とした研究設計の都合上、アクセントの体系的な分類・分析を行うには至らなかった。今後は、対面調査による高品質な音声資料の収集や、アクセントに焦点を当てた調査設計を行うことで、袋井市における遠州方言のアクセント体系をより詳細に明らかにすることが課題となる。

本研究で整理した語彙資料は、Zenodo への保存・公開および InDIGO (下地 2025) を用いた電子語彙集としての公開を通じて、これまで十分に共有されてこなかった言語記録の補完を可能にするものである。今後は、調査対象者の拡大や調査語彙の追加を行うとともに、自然発話資料を用いた音声分析を進めることで、語彙の特徴を体系的に明らかにしていく必要がある。さらに、袋井市方言の研究が今後も継続的に進められることで、より詳細な方言の特徴や実体が明らかになることが期待される。

参照文献

浅井昂（2000）『遠州の方言考』

『浅羽の方言かるたと子どもたち』編集委員会 編（2007）『浅羽の方言かるたと子どもたち』．静岡新聞社．

井上史雄（2022）「静岡の新方言と標準語の普及過程」『静岡大学言語研究会』5, pp. 1-27.

飯豊毅一, 佐藤亮一, 日野資純 編（1998）『講座方言学 6 中部地方の方言』．国書刊行会．

岩瀬護（2025）『おらんとこわっちらんとこのはなしことば 〈用例〉 遠州弁・森町方言大辞典? 「宙」』弁

上野善道（2017）「新潟県における中輪・外輪両アクセントの境界線」『金沢大学文学部論集. 文学科篇』2, pp. 49-85.

「遠州弁講座」．おどうさほいほい. <https://odousa.o.oo7.jp/enshuben/kouza.htm>, （参照 2026-01-04）．

「遠州弁で昔話」．遠州弁で語り部. <https://funahashi.chips.jp/katari.htm#ktr-mukasi>, （参照 2026-01-04）．

鎌田良二（1968）「サ行五段活用動詞のイ音便—西日本方言について—」『甲南女子大学大学研究紀要』4, pp. 36-57.

木川行央（2011）「静岡県松崎町方言のアクセントにおける「ゆれ」の実態—語アクセント調査と談話資料の観点から—」『音声研究』15(3), pp. 48-61.

金田一春彦（1974）『国語アクセントの史的研究 原理と方法』．塙書房．

佐藤亮一（2009）『都道府県別 全国方言辞典 CD 付き』．三省堂．

静岡新聞社（1999）『傑作しぞーか弁』．静岡新聞社．

柴田武, 加藤正信 編（1977）『岩波講座日本語 11 方言』．岩波書店．

「しぞーか弁」．ティーライフ株式会社伸ちゃん日記. <http://shinchan-world.jp/archives/50941251.html>, （参照 2026-01-06）．

下地理則（2015）「方言調査の実際／アーカイビング」『私たちの日本語研究』pp. 96-101, 106-110. 朝倉書店．

セリック・ケナン（2022）「宮古語砂川方言の語彙集」『言語記述論集』14, pp. 157-209.

谷ロジョイ, 中山恭弘（2023）「静岡県新居方言の使用・理解における世代差と言語意識」『静岡大学言語学研究会』6, pp. 127-162.

谷ロジョイ・山岸裕己（2025）「静岡方言における推量表現の変異・変化：カテゴリカルデ

- 一タ分析による可視化手法を用いて」『静岡県言語研究会』8, pp. 1-15.
- 寺田泰政（1970）『遠州方言のアクセント』．美哉堂書店.
- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（1967）『アジア・アフリカ言語調査票
下』．東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 富山昭（2007）『えーらしぞーか：静岡方言誌』．静岡新聞社.
- 平子達也（2017）「外輪式アクセントの歴史的位置づけについて」『アジア・アフリカ言語
文化研究』94, pp. 259-276.
- 藤原あかね（2021）「静岡県中部方言における推量表現「ラ」「ダラ」について」『阪大社
会言語学研究ノート』17, pp. 1-17.
- ふるさと土橋研究会（2013）『ふるさと土橋』．ふるさと土橋研究会
- 山口幸洋（1987）『静岡県の方言』．静岡新聞社.

付録

以下では、本研究の調査によって得られた語彙を、五十音順に整理して掲載する。

各語彙は、上段に基本的な語彙情報をまとめ、下段に用例を示す構成とした。上段には、左から順に、袋井市方言の見出し語、音素表記、IPA 表記、品詞、標準語訳を記載している。下段には、調査または先行研究において確認された例文を示し、上段から順に袋井市方言の音素表記とその品詞分解を施した表記、標準語訳を掲載した。また、例文が確認できなかった語彙については、上段の語彙情報のみを記載している。なお、紙幅および表組の都合上、語彙によっては上段と下段が異なるページに分かれて記載されている場合があることをあらかじめ断っておく。

| | | | | |
|---|---------------------|----------------------------|---|-----------------|
| あーぬく | /aanuku/ | [a:nuk̚] | V | 見上げる、上を向く |
| motto aanu-ite=goo mi-eru=de | | | | |
| もっと上を見てごらん、見えるから | | | | |
| あいく | /aiku/ | [aik̚] | V | 歩く |
| asoko=nara sonna=ni too-ku-nai=de aiku=ka | | | | |
| あそこならそんなに遠くないから歩こうか | | | | |
| あいさ | /aisa/ | [aisa] | N | 間、物と物の狭間 |
| daizi=na kaki-mon=to omot-ta=de zisjo=to zisjo=no aisa=ni hasan-doi-ta=jo | | | | |
| 大事な書きものだと思ったから、辞書と辞書の間挟んでおいたよ | | | | |
| あいまち・あ やまち | /aimati/, /ajamati/ | [aimat̚ci], [ajamat̚ci] | N | 怪我、失敗 |
| kinoo maki-wari=si-ta toki aimati=si-tjat-te | | | | |
| きのう薪割したときに怪我してしまつて | | | | |
| あたける | /atakeru/ | [ataker̚] | V | 当たり散らす、暴れ 騒ぐ |
| anna=ni atake-te hazukasii=naa | | | | |
| あんなに暴れて恥ずかしいなあ | | | | |
| 頭を切る | /atamaokiru/ | [atama o k̚jir̚] | V | 散髪する |
| iikagen=ni tokoba=e it-te atama=o kit-te ki-nasai | | | | |

| | | | | |
|--|----------------------------------|----------------------------------|--------|---------------------|
| いい加減に床屋に行って髪を切ってきたさい | | | | |
| あっかあ | /akkaa/ | [akka:] | N | 赤ちゃん |
| haa sannin-me=no akkaa deki-ta-tte | | | | |
| もう三人目の赤ちゃんできたって | | | | |
| あつらさる | /aturasaru/ | [atsurasaru] | V | 頼まれる |
| aturasat-ta dade jara-nja-ikan=ze | | | | |
| 頼まれた、だからやらないといけないぜ | | | | |
| あてこたあ ない・あてこ ともない | /atekootaanai/ /atekotomonai/ | [atekota:nai], [atekotomonai] | ADJ | あてにならない、頼 りにならない |
| sonna atekoto-mo-nee=koto bakka juu-na | | | | |
| そんなあてにならないことばかり言うな | | | | |
| あまらかす | /amarakasu/ | [amarakasʊ] | V | 余す、残す |
| dasi-te-kure-ta gohan=o amaraka-sitja-ikan=jo | | | | |
| 出してくれたご飯を残してはいけないよ | | | | |
| あんにー | /annii/ | [anni:] | N | 兄 |
| ore annii=no heja=to onazi heja=dee jan-nat-tjau=jaa | | | | |
| 俺、お兄ちゃんの部屋と同じ部屋だあ | | | | |
| あんねー | /annee/ | [anne:] | N | 姉 |
| ik-kagetu=kurai mae=ni annee=ga kaigai-rjokou=ni it-te=saa | | | | |
| 一ヵ月位前に、姉が海外旅行に行ってきたあ | | | | |
| あんもー | /anmoo/ | [anmo:] | N | 餅 |
| sjoogatu=nja-a anmoo jai-te kut-ta=kke=naa | | | | |
| 正月には餅を焼いて食べたっけなあ | | | | |
| いいからげ んに | /iikaragenni/ | [i:karagenni] | ADV | いい加減に |
| iikaragen=ni henzi si-te jat-ta | | | | |
| いい加減に返事をしてやった | | | | |
| いーら | /iira/ | [i:ra] | Phrase | いいでしょ |
| kore ii=ra | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|--------|-------------------------------|
| これいいでしょ | | | | |
| いかい | /ikai/ | [ikai] | ADJ | 大きい、背が高い |
| ou kjoo=wa erai ikai=sakana tut-te-kita=naa | | | | |
| おう、今日はとても大きい魚釣ってきたね | | | | |
| いがらっぽ い | /igarappoi/ | [igarappoi] | ADJ | 喉がいがいがする |
| kaze=wa hii-tja-in=ken baka=ni nodo=ga igarappo-kute | | | | |
| 風邪はひいていないけど、すごく喉がいがいがして | | | | |
| いきれる | /ikireru/ | [ik'ireru] | ADJ | 蒸し暑い |
| kinoo ame=n hut-ta=de kjoo=wa erai ikire-ru=nee | | | | |
| 昨日雨が降ったから、今日はとても蒸し暑いねえ | | | | |
| いける | /ikeru/ | [ikeru] | V | 埋める |
| juri=no hatiue=o kat-te ki-ta=de mi-eru toko=e ike-te kure-ru | | | | |
| ユリの鉢植えを買ってきたから、見えるところに埋めてくれる？ | | | | |
| いごく・いの く | /igoku/, /inoku/ | [igoku], [inoku] | V | 動く |
| hajaku igoi-te | | | | |
| 早く動いて | | | | |
| いじゃ | /izja/ | [iza] | Phrase | 行こう |
| atti izja | | | | |
| あっち行こう | | | | |
| いずようが ない・いずよ うんない | /izujoonnai/, /izujooganai/ | [izujo:ganai], [izujo:nnai] | ADJ | 身の置き場がない、 そんなに長くはい られない |
| samui eki=no hoomu=zja izujoo=ga na-i | | | | |
| 寒い駅のホームでは身の置き場がない | | | | |
| いっしょく たあ | /issjokutaa/ | [iccokuta:] | N | 分けずに全部ひと まとめにする |
| koko=ni aru=no zenbu issjokutaa=ni si-tjat-te ii=ra | | | | |
| ここにあるの全部、ひとまとめにしてしまっていていいよね？ | | | | |

| | | | | |
|---|----------------------------|-------------------------------|-----|--------------------|
| いと | /ito/ | [ito] | N | いとま、間 |
| sono ito=ni kuru=jo | | | | |
| そのうちに来るよ | | | | |
| いまに | /imani/ | [imani] | ADV | 間もなく、もうじき |
| imani kuru=jo | | | | |
| もうじき来るよ | | | | |
| いまもと | /imamoto/ | [imamoto] | N | 今ちょっと前 |
| imamoto=made i-ta=jo | | | | |
| 少し前までいたよ | | | | |
| いみり | /imiri/ | [imiri] | N | ひび |
| anmoo=ni imiri=ga hait-ta | | | | |
| 餅にひびが入った | | | | |
| いらんこん | /irankon/ | [irankon] | N | 余計なこと |
| sonna koto iran-kon=zjan | | | | |
| そんなこと余計なことじゃん | | | | |
| いわすよう がない | /iwasujooganai/ | [iwasujo:ganai] | ADJ | 言いようがない、表 現できない |
| nagusame=mo hagemasi=mo totemo=zjanai=n i-wasu-joo=ga na-i=jo | | | | |
| 慰めも励ましも、とてもじゃないけど言えないよう | | | | |
| うそっこき | /usokkoki/ | [ʊsokkokʲi] | N | うそつき |
| aitu=wa usokko-ki=dade anmari ki=o jurus-an hoo=ga ii=ze | | | | |
| あいつはうそつきだから、あまり気を許さないほうがいいぜ | | | | |
| うっちゃら かす・うち やる | /uttjarakasu/ /uttjaru/ | [ʊtt̚carakas̚], [ʊtt̚caru] | V | 放っておく、放置す る |
| ir-an mon=wa uttjar-u=to ii | | | | |
| いらないものは放っておくといい | | | | |
| うなう | /unau/ | [ʊnaʊ] | V | 田畑を耕す |
| えーかんー | /eekan/ | [e:kan] | ADV | いい加減、かなり |
| eekan arii-te kutabire-ta=jo | | | | |

| | | | | |
|--|----------------|----------------|--------|------------------|
| かなり歩いてくたびれたよ | | | | |
| えーら | /eera/ | [e:ra] | Phrase | いいでしょ |
| kore ee=ra | | | | |
| これいいでしょ | | | | |
| えがむ | /egamu/ | [egamu] | V | ゆがむ |
| rain massugu hii-ta tumori dat-ta=ken erai egan-zjat-ta | | | | |
| ラインまっすぐ引いたつもりだったけど、とてもゆがんじゃった | | | | |
| えぐい・えご い | /egui/, /egoi/ | [egui], [egoi] | ADJ | 苦い、渋い |
| egoi imogara=da=naa | | | | |
| 苦い芋がらだなあ | | | | |
| えめんぞ | /emenzo/ | [emenzo] | N | 溝 |
| asoko=no emenzo=n um-atte-ki-ta=de ato=de hori-naos-ite oi-te kurjoo | | | | |
| あその溝が埋まってきたから、後で掘りなおしておいておくれ | | | | |
| えらい | /erai/ | [erai] | ADJ | (体が)きつい、しんどい、すごい |
| nebusoku=de kjoo=wa erai=naa | | | | |
| 寝不足で今日はきついなあ | | | | |
| おうど | /oodo/ | [o:do] | N | 庭、平らな広いところ |
| mooziki hatake=e iku=de oodo=de ason-de mat-te-nasai | | | | |
| もうじき畑へ行くから、庭で遊んで待っていなさい | | | | |
| おえ | /oe/ | [oe] | N | 民家へ入ったところの部屋 |
| saasaa mazu=wa oe=e agat-te-kure | | | | |
| さあさあ、まずは居間へあがってくれ | | | | |
| おえん | /oen/ | [oen] | ADJ | 駄目、いけない |
| kore=wa o-en=jaa | | | | |
| これはいけないよう | | | | |
| おおかん | /ookan/ | [o:kan] | N | 大きな道 |

| | | | | |
|---|---------------------------------|---------------------------------|-----|-------------|
| おおぼった い | /oobottai/ | [o:bottai] | ADJ | まぶたが腫れている状態 |
| nebusoku=de kao=n oobottai=jaa | | | | |
| 寝不足で顔が腫れぼったいなあ | | | | |
| おじぶっつ あま | /ozibuttsama/ | [ozibʊttsama] | N | 仏壇 |
| ozibuttsama=ni age-ta mono=o sage-te-ki-te tjoodai | | | | |
| 仏壇に上げたものを下げてきてちょうだい | | | | |
| おじよける・ じよける | /ozjokeru/, /zjokeru/ | [ozokerʊ], [zokerʊ] | V | ふざける |
| おしわる | /osiwaru/ | [oɕiwaru] | V | 教わる |
| sensee=ni kore osiwat-ta | | | | |
| 先生にこれ教わった | | | | |
| おすんばー | /osunbaa/ | [osʊmba:] | N | 恥ずかしがり屋 |
| kono ko=wa hunto=ni osunbaa=damonde | | | | |
| この子は本当に恥ずかしがり屋だから | | | | |
| おだいさま | /odaisama/ | [odaisama] | N | お金持ち |
| atti=wa odaisama=da=zo mukasi=kara tokoja=o tutome-te-ki-teru=de=na | | | | |
| あっちはお金持だぞ、昔から床屋を経営してきてるからな | | | | |
| おっかあ・お っかさ・おっ かちや | /okkaa/, /okkasa/, /okkatja/ | [okka:], [okkasa], [okkatɕa] | N | お母さん |
| okkaa=wa netu=o das-ite ima uti=de ne-te-ru=wa | | | | |
| お母さんは熱を出して今うちで寝てるわ | | | | |
| おっかない | /okkanai/ | [okkanai] | ADJ | こわい、おそろしい |
| ano hen=wa kurai=de kaitjuudentoo=o mot-te-k-an=to okkanai=jo | | | | |
| あの辺は暗いから、懐中電灯をもっていかないと怖いよ | | | | |
| おっこちる | /okkotiru/ | [okkotɕiru] | V | 落ちる |
| おっさま | /ossama/ | [ossama] | N | お坊さま |
| kjou=wa otoki=no hi=dade mouziki ossama=ga mi-eru=jo | | | | |

| | | | | |
|--|---------------------------------|---------------------------------|-----|-------------------|
| 今日はお齋の日だから、もうすぐお坊さまがいらっしゃるよ | | | | |
| おっしい | /ossii/ | [occi:] | N | お味噌汁 |
| isogasii=de mesi=ni ossii bukkake-te josi-ni-si-tjau=ka-naa | | | | |
| 忙しいから、ご飯にお味噌汁をかけて良しとしちゃおうかなあ | | | | |
| おっとお・お とさ・おと っちゃ | /ottoo/, /ottosa/, /otottja/ | [otto:], [ottosa], [otottca] | N | お父さん |
| ozisan joozi=n at-te ki-ta=da-ken-ga ototttja=ka okkatja iru=kai=naa | | | | |
| おじさん用事があるて来たんだけど、お父さんかお母さんいるかな？ | | | | |
| おといた | /otoita/ | [otoita] | V | 落とした |
| jaijai daizi=na hati=da-kedo oto-ite wat-tjat-ta=i | | | | |
| やれやれ、大事な鉢だけど落として割っちゃったよ | | | | |
| おどける | /odokeru/ | [odokeru] | ADJ | びっくりする、調子に乗ってふざける |
| odoke-ta=jaa kjuu=ni usiro-kkara koe kake-rare-ta=monde | | | | |
| びっくりしたよお、急に後ろから声をかけられたから | | | | |
| おとましい | /otomasii/ | [otomaci:] | ADJ | 安心できない、かわいそう |
| sonna otomasii kon=wa jame-mai=ka | | | | |
| そんなかわいそうなことはやめないか | | | | |
| おぬた | /onuta/ | [onuta] | N | ぬた和え |
| okaatjan tanbo=de takusan tubo tot-te-ki-ta=de onuta tukut-te-jo | | | | |
| お母ちゃん、田んぼでたくさんタニシ捕まえてきたから、ぬた和えつくってよ | | | | |
| おひんぶる | /ohinburu/ | [oçinbuçu] | V | おすまし、気どる |
| kjoo=wa erai osjare si-te nanka ohinbut-teru kanzi dak-ki | | | | |
| 今日はすごくおしゃれして、なんか気どってる感じだっけ | | | | |
| おんし・おん しゃ | /onsi/, /onsja/ | [onçi], [onça] | N | お前 |
| onsi-ra huzake-teru=zja nee=zo | | | | |
| お前ら！ふざけてるんじゃないぞ！ | | | | |

| | | | | |
|---|---------------------------|--|---|--------------------|
| おんない | /onnai/ | [onnai] | V | いらっしゃい |
| asita onnnai | | | | |
| 明日いらっしゃい | | | | |
| かーち・かい ち・かえち | /kaati/, /kaeti/ | /kaiti/, [ka:tc̥i], [kait̥ci], [kaet̥ci] | N | 着替え、代わり |
| rjokou iku=nara kaeti=wa oome=ni mot-te iki-nai=ne | | | | |
| 旅行に行くなら、着替えは多めに持っていきなさいね | | | | |
| かーばる | /kaabaru/ | [ka:baɾu] | V | こびりつく、乾いて 張り付く |
| aobana=ga kaabaritui-teru=ni | | | | |
| 青ばながこびりついてるよ | | | | |
| かある | /kaaru/ | [ka:ɾu] | V | 倒れる |
| jokokaze=de tatekanban=ga kaat-tjat-ta=de tate-naos-ite oi-te kure | | | | |
| 横風で立て看板が倒れちゃったから立て直しておいてくれ | | | | |
| かいど | /kaido/ | [kaido] | N | 玄関～門の通路部 分 |
| kaido=no niwaisi=no toko=e oi-tok-u=joo | | | | |
| かいどの庭石のところに置いておくよ | | | | |
| かいんどり・ かえんどり | /kaindari/, /kaendori/ | [kaindari], [kaendori] | N | 川の水を空にして 魚を取る漁法 |
| kaendori=tte ganko-na toki=wa otona go-roku-nin=de jat-tari suru=da=joo | | | | |
| かえんどりって大掛かりな時は、大人五～六人でやったりするんだよ | | | | |
| 鍵をかう | /kagiokau/ | [kag̥ji o kau] | V | 鍵をかける |
| genkan=no kagi kat-toi-te | | | | |
| 玄関の鍵をかけといて | | | | |
| かじくる | /kazikuru/ | [kazik̥ɕu] | V | 爪や釘などでひっ かく |
| hizi=n toko erai kazikut-ta=naa musu=ni=demo jar-are-ta=da=ka | | | | |
| 肘のところすごくひっかいたねえ、虫にでも刺されたのか？ | | | | |
| かたぐ | /katagu/ | [katagu] | V | 傾く |

| | | | | |
|--|---------------|----------------|-----|-----------------|
| tun-da hako=n dandan katai-de ki-ta=zo | | | | |
| 積んだ箱がだんだん傾いてきたぞ | | | | |
| かたす | /katasu/ | [katasu] | V | 加える、仲間に入れる |
| ano=ko kakurenbo=ni katasi-te-jaru=ka | | | | |
| あの子をかくれんぼの仲間に入れてやるか | | | | |
| がとー | /gatoo/ | [gato:] | ADV | 多いさま、たいへん、ものすごい |
| gatoo aru=nee | | | | |
| たくさんあるねえ | | | | |
| がとーもな い | /gatoomonai/ | [gato:monai] | ADJ | 程度が甚だしい、とてつもない |
| deki-mo-sinai=ni gatoomonai koto=o juu=zjaa-nai | | | | |
| 出来もしないのに、とてつもないことを言うんじゃない | | | | |
| がんこ | /ganko/ | [gan̥ko] | ADJ | かたくな、しつこい、すごい |
| kore=wa ganko-na mon=da=naa | | | | |
| これはしつこいもんだなあ | | | | |
| がんまめ | /ganmame/ | [gammame] | N | そら豆 |
| kjoo=wa ganmame=n takusan tore-ta=de okaasan=ni zjoozu=ni ni-te-morau=ka=nee | | | | |
| 今日はそら豆がたくさん穫れたから、お母さんに上手に煮てもらおうかなあ | | | | |
| きいない | /kiinai/ | [kʲi:nai] | ADJ | 黄色い |
| tjotto soko=no kiinai nuno tot-te | | | | |
| ちょっと、底の黄色い布取って | | | | |
| きぜわしな い | /kizewasinai/ | [kʲizewaɕinai] | ADJ | 心がせかれて忙しい |
| maitosi soo=da=ken tosinose=wa kizewasina-ku-te otituk-an=nee | | | | |
| 毎年そうだけど、年の瀬は心がせかされて落ち着かないねえ | | | | |
| きっちゃか | /kittjaka/ | [kʲitt̚caka] | ADV | 早く、さっさと、てきぱき |

| | | | | |
|---|------------|---------------|-----|-----------------------------------|
| kittjaka=ni jaru=nee | | | | |
| てきぱきとやるねえ | | | | |
| ぎっちょ | /gittjo/ | [gʲitt̚co] | N | 左利き |
| joku gittjo=no hito=wa kijoo=da-tte juu=jo=ne | | | | |
| よく左利きの方は器用だっていうよね | | | | |
| ぎょーさん | /gjoosan/ | [gʲoːsaɴ] | ADV | たくさん、多い |
| gjoosan aru=nee | | | | |
| たくさんあるねえ | | | | |
| きょーら | /kjoora/ | [kʲoːra] | N | 近ごろ、この節 |
| kjoora nani si-teru=dai=nee | | | | |
| 近ごろ何してるんだらうねえ | | | | |
| きんのう | /kinnou/ | [kʲinnoː] | N | 昨日 |
| kinnou tjotto asari-tori=ni it-te-ki-ta=monde osusowake=da=jo | | | | |
| 昨日ちょっとあさり捕りに行ってきたから、おすそわけだよ | | | | |
| ぐしゃ | /gusja/ | [gɯ̥ɕa] | N | 泥道、ぬかるみ |
| くすがる | /kusugaru/ | [kɯ̥sɯ̥garɯ̥] | V | 刺さる |
| toge=ga kusugat-tjat-ta | | | | |
| とげが刺さっちゃった | | | | |
| くすべ | /kusube/ | [kɯ̥sɯ̥be] | N | ほくろ、色素沈着で 肌にできる黒っぽい いしみ状のもの |
| tosi tot-te-kuru=to kusube=ga deki-jasu-ku nat-te | | | | |
| 年取ってくるとしみができやすくなって | | | | |
| くりよ | /kurjo/ | [kɯ̥rʲo] | V | くれ、くれよ |
| sore kurjo | | | | |
| それちょうだい | | | | |
| くるー | /kuruu/ | [kɯ̥rɯ̥ː] | V | ふざける、戯れる |
| uti=no naka=de kurut-tja ikan | | | | |
| 家の中でふざけちゃいけないよ | | | | |
| くろ | /kuro/ | [kɯ̥ro] | N | 隅、端 |

| | | | | |
|--|------------------|------------------|------|--------------------|
| sonna kuro-no hou=bak-ka arui-teru=to abunnai=jo | | | | |
| そんな端の方ばかり歩いていると危ないよ | | | | |
| けっからか す | /kekarakasu/ | [kekarakasʊ] | V | 勢いよく蹴る |
| sonna=ni kekarakai-te | | | | |
| そんな勢いよく蹴って | | | | |
| けっこい | /kekkoï/ | [kekkoï] | ADJ | きれい |
| kono heja kekkoï=ne | | | | |
| この部屋きれいだね | | | | |
| けなるい | /kenarui/ | [kenarʊi] | ADJ | うらやましい |
| kenarui=jaa | | | | |
| うらやましいなあ | | | | |
| けん・けんど | /ken/, /kendo/ | [ken], [kendo] | CONJ | けれど |
| soo=da=kendo | | | | |
| そうだけれど | | | | |
| こうこう | /kookoo/ | [ko:ko:] | N | たくあん、漬物 |
| kono kookoo=wa umai=naa | | | | |
| このたくあんはおいしいなあ | | | | |
| ごーがわく | /googawaku/ | [go:gawakʊ] | V | 業を煮やす、怒る |
| hontoo=ni goo=ga waku=naa | | | | |
| 本当に腹が立つなあ | | | | |
| こく | /koku/ | [kokʊ] | V | 言う |
| iikagen=na koto koku=na | | | | |
| いい加減なことを言うな | | | | |
| こぐさらぼ ったい | /kogusarabottai/ | [kogʊsarabottai] | ADJ | なんとなく臭い、だ らしがない |
| erai kogusarabottai=naa | | | | |
| すごいだらしがないなあ | | | | |
| こけら | /kokera/ | [kokera] | N | うろこ |
| こける | /kokeru/ | [kokerʊ] | V | 転ぶ、倒れる |

| | | | | |
|---|---------------|---------------|-----|---------------------|
| こさ | /kosa/ | [kosa] | N | 木陰 |
| kosa=no tokoro=ni koori=ga hat-te-ta=ni | | | | |
| 木陰のところに氷が張ってたよ | | | | |
| こさむった い | /kosamuttai/ | [kosamuttai] | ADJ | 少し寒い |
| kinoo=made atukat-ta=kedo kesa=wa kosamuttai=nee | | | | |
| 昨日まで暑かったけど、今朝はちょっと寒いね | | | | |
| こしょう | /kosjau/ | [koʃau] | V | 作る |
| sore=o kosjau=to ii=zjan | | | | |
| それを作るといいよ | | | | |
| ごせっぽい | /goseppoi/ | [goseppoi] | ADJ | せいせいした気分 だ、むせっぽい |
| kinako=o tabe-te goseppoi=jaa | | | | |
| きな粉を食べてむせっぽいなあ | | | | |
| こそくる | /kosokuru/ | [kosokuru] | V | 修繕する |
| kagi=o kosokut-toi-ta=jo | | | | |
| 鍵を直しておいたよ | | | | |
| こどむ | /kodomu/ | [kodomu] | V | 沈殿する |
| mizu=ni toke-ru=to omot-ta=ken toke-n=de kodon-de-ru=ne | | | | |
| 水に溶けると思ったけど、溶けないで沈んでるね | | | | |
| こびりつく | /kobirituku/ | [kobiritsuku] | V | 焦げ付く |
| kobiritui-tjat-ta | | | | |
| 焦げ付いちゃった | | | | |
| こぶしょっ たい | /kobusjottai/ | [kobusjottai] | ADJ | だらしない、不潔だ |
| uti=ni iru tok=jaa sorjaa kobusjottaku si-teru=ni | | | | |
| 家にいる時には、そりゃあだらしくしてるでしょ | | | | |
| こわい | /kowai/ | [kowai] | ADJ | 固い |
| kono niku kowai=wa | | | | |
| この肉固いわ | | | | |

| | | | | |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|-----|----------------------------|
| こんこう | /konkoo/ | [konko:] | N | 粉 |
| konkoo=ni si-nakja | | | | |
| 粉にしなくちゃ | | | | |
| ごんぼう | /gonboo/ | [gombo:] | N | ごぼう |
| hatake=no gonboo joku sodat-ta jatu=o ni-san-bon nui-te-ki-te | | | | |
| 畑のごぼう、良く育ったやつを二～三本抜いてきて | | | | |
| こんぼー | /konboo/ | [kombo:] | N | 子牛 |
| genki-na konboo=ga umare-ta=naa | | | | |
| 元気な子牛が産まれたなあ | | | | |
| さーたりま わる・さーた れまわる | /saatarimawaru/ /saataremawaru/ | [sa:tarimawaruː], [sa:taremaruː] | V | 騒ぎ回る、うろうろ と落ち着かないこ と |
| sokora saatari-mawaru=zjanai | | | | |
| そこら辺を騒ぎ回るじゃない | | | | |
| さーたれる | /saatareru/ | [sa:tareruː] | V | 騒ぐ、うろつく |
| itumade=mo saatate-teru=nzja nai=jo | | | | |
| いつまでもうろついてるんじゃないよ | | | | |
| さーともす りゃー | /saatomosurjaa/ | [sa:tomosurja:] | ADV | 何かにつけて、いつ もすぐに |
| saatomosurjaa onedari=da | | | | |
| いつもすぐにおねだりだ | | | | |
| ざいしょ | /zaisjo/ | [zaiʃo] | N | 実家 |
| uti=n=no=wa ima hisasiburi=ni zaisjo=e kaet-teru=jo | | | | |
| うちの妻は今久し振りに実家へ帰っているよ | | | | |
| さっさくさ あ | /sassakusaa/ | [sassakusa:] | ADJ | そそっかしい様、軽 率 |
| sassakusaa-de komat-ta hito=da | | | | |
| そそっかしくて困った人だ | | | | |
| さっつける | /sattukeru/ | [sattsukeruː] | V | 押しつける、当てつ ける |

| | | | | |
|--|-----------------|-----------------|-----|-----------|
| aitu zurui=jo=naa mendokusai sigoto kotti=i sattuke-te=saa | | | | |
| あいつずるいよな、面倒くさい仕事こっちに押しつけてさあ | | | | |
| さばく | /sabaku/ | [sabaku] | V | 裂く、破る |
| sjoozi=o sabaku=na=jo | | | | |
| 障子を破くなよ | | | | |
| さぶも | /sabumo/ | [sabumo] | N | 鳥肌 |
| sabumon deki-tjat-ta | | | | |
| 鳥肌できちゃった | | | | |
| さら | /sara/ | [sara] | ADV | ～まま、ごと |
| koko=ni aru=no marusara kau=wa | | | | |
| ここにあるの丸ごと買うわ | | | | |
| しがさって | /sigasatte/ | [sigasatte] | N | しあさって |
| sizooka=no obatjan sigasatte kuru-tte it-te-ta=jo=ne | | | | |
| 静岡のおばちゃん、しあさって来るって言ってたよね | | | | |
| しくだい | /sikudai/ | [sikudai] | N | 宿題 |
| asobi=i iku mae=ni sikudai=dakja-a jat-toki-nasai=jo | | | | |
| 遊びに行く前に宿題だけはやっておきなさいよ | | | | |
| しぞーか | /sizooka/ | [sizooka] | N | 静岡 |
| したべろ | /sitabero/ | [sitabero] | V | 舌 |
| anta i=ga warui=ra sitabero=n siroku nat-teru=mon | | | | |
| あんた胃が悪いでしょ、舌が白くなってるもん | | | | |
| しない | /sinai/ | [sinai] | V | ～しなよ、しなさい |
| wasure-n uti=ni denwa sinai=jo | | | | |
| 忘れないうちに電話しなさいよ | | | | |
| しなくれる | /sinakureru/ | [sinakureru] | V | しおれる |
| atui=de konomae kazat-ta hana=n moo sinakure-tjat-ta=jo | | | | |
| 暑いから、この前飾った花がもうしおれちゃった | | | | |
| しゃっつら にくい | /sjatturanikui/ | [sjatturanikui] | ADJ | 憎らしい |

| | | | | |
|---|------------------|-----------------|--------|-----------------|
| aitu=wa uso bakkari tuki-jaga-ru sjatturanikui jaroo=da | | | | |
| あいつは嘘ばかりつきやがる。憎らしい野郎だ。 | | | | |
| しゃびしゃび | /sjabisjabi/ | [ɕabicabi] | N | 水量が適量より多い様 |
| kono karee tjotto sjabisjabi=n nat-tjat-ta=ne | | | | |
| このカレー、ちょっと水っぽくなっちゃったね | | | | |
| しゃれくりかーる | /sjarekurikaaru/ | [ɕarekɯrika:rɯ] | V | おめかしする、派手にしゃれる様 |
| ano hito sjarekurikaat-teru=zjan | | | | |
| あの人おめかししてるじゃん | | | | |
| しゃんべえ | /sjanbee/ | [ɕambeɐ] | N | よくしゃべる人 |
| aitu=nja-a naisjo-got=aa sjabere-n=naa sjanbee=dade | | | | |
| あいつには内緒ごとはしゃべれないな、おしゃべりだから | | | | |
| しゅう | /sjuu/ | [ɕɯ:] | N | 人たち |
| ano wakai sjuu=wa | | | | |
| あの若い人たちは… | | | | |
| じゅるい | /zjurui/ | [zɯrɯi] | ADJ | ぬかるんだ |
| kinoo=no ame=de mada oodo=wa zjurui=jo | | | | |
| 昨日の雨でまだ庭はぬかるんでるよ | | | | |
| しよろしよろする | /sjorosjorosuru/ | [ɕoroɕorosɯru] | V | ぐずぐずする、気を抜いている |
| nani sjorosjoro si-ten=da | | | | |
| なにぐずぐずしているんだ | | | | |
| じょんじょう | /zjonzjoo/ | [zonzɔ:] | N | ぞうり |
| sono zjonzjoo=zja tooku=made aruke-n=ne | | | | |
| その草履じゃ、遠くまでは歩けないね | | | | |
| しょんない | /sjonnai/ | [ɕonnai] | Phrase | 仕方がない |
| sjonnai=naa sore=zja itumade tat-temo rati=ga aka-n | | | | |
| 仕方がないなあ、それじゃあいつまで経ってもらちが明かない | | | | |

| | | | | |
|---|------------------------|-------------------------|-----|------------------|
| しょんばい | /sjonbai/ | [çombai] | ADJ | しょっぱい、塩辛い |
| azi=ga sjonbaku nat-tjat-ta | | | | |
| 味がしょっぱくなっちゃった | | | | |
| ずだい | /zudai/ | [zɯdai] | ADV | 全然、全く、はじめから |
| zudai dame=zjan | | | | |
| 少しもだめじゃん | | | | |
| すっぽーぐい | /suppoogui/ | [sɯppo:ɡui] | N | おかずなしの食事 |
| asa-hajaku suppoogui-si-te turi=e deru | | | | |
| 朝早くおかずなしの食事をして釣りに出る | | | | |
| ずねくる・ずねる | /zuneru/ /zunekuru/ | [zɯneru], [zɯnekuru] | V | 猛烈な勢いで走る、突っ走る |
| zuneku-tte sotti=e hasit-tet-ta=jo | | | | |
| 猛烈な勢いでそっちへ走っていったよ | | | | |
| ずら | /zura/ | [zɯra] | FP | ~でしょう、だろう |
| asita kjooto=e iku-tte it-tu=ra asa=no uti=ni de-ru=zura | | | | |
| 明日京都へ行くって言ったでしょ？朝のうちに出るんだよね？ | | | | |
| せぎ | /segi/ | [segʲi] | N | 溝、小川、用水路 |
| せずようない | /sezujonnai/ | [sezɯjo:nnai] | ADJ | やりようがない、どうしようもない |
| koko=n toko mondai bakka de-te-ki-tjat-te sezujoo=n nai=naa | | | | |
| ここのところ問題ばかり出てきちゃって、どうしようもないなあ | | | | |
| せっくり | /sekkuri/ | [sekkuri] | N | しゃっくり |
| sekkuri=ga tomara-n-de setunai-kke | | | | |
| しゃっくりが止まらないから苦しかった | | | | |
| せど | /sedo/ | [sedo] | N | 裏の家 |
| sedo=e kairan oi-te-ki-te | | | | |
| 裏の家へ回覧置いてきて | | | | |
| せんしょー | /sensjoosuru/ | [sençø:suru] | V | 差し出口をする、お |

| | | | | |
|--|-----------------------------|-----------------------------|-----|-------------------------|
| する | | | | 節介をする |
| aada kooda=to sensjoo-suru=to kiraw-are-ru=jo | | | | |
| あーだこーだとお節介をすると嫌われるよ | | | | |
| せんひき | /senhiki/ | [sençikʲi] | N | 定規 |
| senhiki tot-te | | | | |
| 定規取って | | | | |
| そこらはっ ちよー | /sokorahattjoo/ | [sokorahattçoi:] | N | そこら中、辺り一面 |
| koozui=de sokora hattjoo umi=mittee=da | | | | |
| 洪水でそこら中海みたいだ | | | | |
| そこんすば・ そこんそば | /sokonsoba/, /sokonsuba/ | [sokonsoba], [sokonsuβa] | N | そこ |
| そのかーち | /sonokaati/ | [sonoka:tçi] | ADV | その代わり |
| sonna kot=aa se-n=demo ii sono kaati sikkari benkjoo si-te=na | | | | |
| そんなことはしなくてもいい、その代わりしっかり勉強してね | | | | |
| そらつかう | /soratukau/ | [soratsukaʊ] | V | とぼける、知らない ふりをする |
| hutari-tomo sora-tukat-te=mo dame=da=jo | | | | |
| 二人ともとぼけても駄目だよ | | | | |
| ぞんぐらこ く(する) | /zongurakoku/ | [zongurakoku] | V | ぞっとする、ひやっ とする、うんざりする |
| mitibata=ni ooki-na heebi=ga notakut-te-te zongurako-ita=da=jo | | | | |
| 道端に大きな蛇がはびこっててぞっとしたよ | | | | |
| ぞんぐり | /zonguri/ | [zonguri] | ADV | ぞっとする様 |
| totuzen hito=ga tobi-dete-ki-te zonguri-si-ta=jo | | | | |
| 突然人が飛び出て来てぞっとしたよ | | | | |
| ぞんざい | /zonzai/ | [zonzai] | N | わがまま |
| anta zonzai jut-teru=zjanai | | | | |
| あんたわがまま言ってるんじゃない | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------|------------------------|------|-------------------------------|
| そんなら | /sonnara/ | [sonnara] | CONJ | それなら |
| ii-jo sonnara zjanken=de kime-ru=ka | | | | |
| いいよ、それならジャンケンで決めるか | | | | |
| たつ | /tatu/ | [tats̥u] | V | 閉める |
| too tat-te | | | | |
| 戸を閉めて | | | | |
| だで | /dade/ | [dade] | CONJ | だから |
| dade nankai=mo it-ta=danii | | | | |
| だから何回も言ったじゃん | | | | |
| だに | /dani/ | [dani] | FP | ～だよ、のに |
| kari-ta hon kaes-ite-ki-nasai sugu iku=dani | | | | |
| 借りた本返してきなさい。すぐ行くんだよ | | | | |
| たまったも んじゃない | /tamattamonzjanai/ | [tamatta monza nai] | ADJ | 我慢できない |
| たまたすか い | /tamarasukai/ | [tamarasukai] | ADJ | 我慢できない |
| だめをこく な | /damewokokuna/ | [dame o kokuna] | V | ばかなことを言う な、いい加減なこと を言うな |
| kodomoo-raa aite=ni dame=o koku=na | | | | |
| 子どもたち相手にいい加減なこと言うな | | | | |
| だもんで | /damonde/ | [damonde] | CONJ | だから |
| kjoo=wa osoozi=no tendai=damonde issjo=ni asobe-n | | | | |
| 今日はお掃除の手伝いだから、一緒に遊べない | | | | |
| ちーっとば か | /tiittobaka/ | [t̥ci:tto baka] | ADV | 少しばかり、わずか ばかり |
| tiito-baka kari-te=mo mada tara-n | | | | |
| 少しばかり借りてもまだ足りない | | | | |
| 血が死ぬ | /tigasinu/ | [t̥ciga cinu] | V | 内出血する様 |
| gennoo=de jubi tatai-te ti=ga sin-zjat-ta=i | | | | |

| | | | | |
|---|----------------|--------------------|-----|----------------------------|
| とんかちで指を叩いて、内出血しちゃった | | | | |
| ちったあ | /tittaa/ | [t̥ɕitta:] | ADV | 少しは、ちょっとは |
| kotti=no kizukai=mo titta-a wakari-soo-na mon=da-ni | | | | |
| こっちの気遣いもちょっとはわかりそうなものなのに | | | | |
| ちみくる | /timikuru/ | [t̥ɕimikuru] | V | つねる |
| tume=no saki=de timikut-ta | | | | |
| 爪の先でつねった | | | | |
| ちゃっと | /tjatto/ | [t̥ɕatto] | ADV | すぐに、早く |
| tjatto kataduke-n=to | | | | |
| 早く片付けないと | | | | |
| ちょびちょびする | /tjobitjobi/ | [t̥ɕobit̥ɕobisuru] | V | 差し出がましいことをする、子どもがうるさく動きまわる |
| tjobitjobi si-te-tja dame | | | | |
| ふざけてちゃだめ | | | | |
| ちんちくりん | /tintikurin/ | [t̥ɕint̥ɕikurin] | ADJ | 背が小さい、洋服の丈が足りていない状態 |
| kono seetaa moo tintikurin=dane | | | | |
| このセーター、もう丈が足りないね | | | | |
| ちんばあ | /tinbaa/ | [t̥ɕimba:] | N | びっこをひく人・状態 |
| ano ko tinbaa=dane bikko hii-teru=mon | | | | |
| あの子足が悪いね、びっこひいてるもん | | | | |
| ちんびー | /tinbii/ | [t̥ɕimbi:] | ADJ | 小さい |
| ちんびくさい | /tinbikusai/ | [t̥ɕimbikusai] | ADJ | 小さい |
| ちんぷりかえる (かく) | /tinpurikaeru/ | [t̥ɕimpurikaeru] | V | 拗ねる |

| | | | | |
|--|---------------|----------------|------|---------|
| itumade=mo tinpurikaite-tja dame=dajo | | | | |
| いつまでも拗ねてちゃだめだよ | | | | |
| つかまさる | /tukamasaru/ | [tsɯkamasaru] | V | 捕まる |
| kinzjo=no zinzja=no saisen-doro tootoo keesatu=ni tukamasat-ta=rasii=zo | | | | |
| 近所の神社の賽銭泥棒、等々警察に捕まったらしいぞ | | | | |
| つっからかす | /tukkarakasu/ | [tsɯkkarakasu] | V | 突き飛ばす |
| anmari situkoku iu=monde okore-te tukkarakai-te jat-ta | | | | |
| あんまりしつこく言うから、怒れて突き飛ばしてやった | | | | |
| つぼ | /tubo/ | [tsɯbo] | N | たにし |
| mukasi=wa tanbo=ni takkusan tubo=ga i-te joku onuta=ni si-te tabe-ta=i=nee | | | | |
| 昔は田んぼにたくさんたにしがいて、よくおぬたにして食べたよね | | | | |
| で | /de/ | [de] | N | 出身 |
| asaba=no=de | | | | |
| 浅羽の出身 | | | | |
| で | /de/ | [de] | CONJ | ～だから |
| tjanto it-toku=de ansin-si-te ii=jo | | | | |
| ちゃんとっておくから、安心して良いよ | | | | |
| でほ | /deho/ | [deho] | N | ほら（を吹く） |
| deho koku=na | | | | |
| ほらを吹くな | | | | |
| てんこちょ | /tenkotjo/ | [tenkoteo] | N | てっぺん、頂上 |
| tooku=no jama=no tenkotjo=n siroku nat-teru | | | | |
| 遠くのあの山のとっぺんが白くなってる | | | | |
| てんだい | /tendai/ | [tendai] | N | 手伝い |
| otendai arigato=ne tasukat-ta=jo | | | | |
| お手伝いありがとうね、助かったよ | | | | |
| ど | /do/ | [do] | ADV | とても～ |
| kakekko do-bayai=mon=ne | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------------|--------------------------|--------|-------------------------------|
| かけっこすごく早いもんね | | | | |
| とーも・とー もん | /toomo/, /toomon/ | [to:mo], [to:mon] | N | 広々と続く田 |
| asoko=no toomon toot-te kaer-anja ikan | | | | |
| あそのの田んぼ通って帰らないといけない | | | | |
| どかんとす る | /dokantosuru/ | [dokan to sɯɾɯ] | ADJ | むさ苦しく暑い、蒸 されるようにいき れること |
| kjoo=wa dokan-to suru=nee | | | | |
| 今日はむさ苦しく暑いね | | | | |
| ところとん ばち | /tokorotonpati/ | [tokorotompac̣i] | ADV | ところどころ、とこ ろ構わず |
| koinu=ga tokoro-tonpati=ni kuso=o si-te tamara-n=njaa | | | | |
| 子犬がところかまわず糞をしたらまらないよう | | | | |
| とびっこ | /tobikko/ | [tobikko] | N | 競争、かけっこ |
| gakkoo=made tobikko=de hajaikko su-ru=ka | | | | |
| 学校まで競争でかけっこするか | | | | |
| とぶ | /tobu/ | [tobɯ] | V | 走る |
| iso-ide ton-de iki-nai | | | | |
| 急いで走っていきなさい | | | | |
| とんじゃか ない | /tonzjakanai/ | [tonzakanai] | Phrase | 知ったことか |
| tonzjakanai=jaa | | | | |
| 知ったことないよ | | | | |
| とんます・と んまえる | /tonmasu/, /tonmaeru/ | [tommasɯ], [tommaerɯ] | V | 捕まえる |
| kabuto tonmae=e it-te-kuru=ka | | | | |
| カブトムシ捕まえに行ってくるか | | | | |
| ないもせん に | /naimosenni/ | [naimosenni] | Phrase | ありもしないのに |

| | | | | |
|---|-----------------|-----------------|--------|-------------------------|
| uti=n naka=ni=wa nai-mo-se-n=ni sagas-ite=mo muda=dara | | | | |
| 家の中にはありもしないのに、探しても無駄だよ | | | | |
| なっかにする | /nakkanisuru/ | [nakkanisuru] | V | 仲間にする、共有する |
| nakka=ni si-te jar-u | | | | |
| 仲間にしてやろう | | | | |
| なるい | /narui/ | [narui] | ADJ | 球が遅い、なだらか |
| sonna narui tama=zja totemo=zja nai=n auto=njaa deki-n=zo | | | | |
| そんな遅い球じゃあ、とてもじゃないけどアウトにはできないぞ | | | | |
| なんか | /nanka/ | [nanka] | ADJ | いたずら |
| nanka=da=nee ano ko=wa | | | | |
| いたずらだね、あの子は | | | | |
| なんか坊主 | /nankaboozu/ | [nankabo:zu] | N | いたずらっこ |
| なんしょかんしょ | /nansjokansjo/ | [nancokanco] | ADV | なにしろ、とにかく |
| ikura mometat-te nansjokansjo kime-njaa nara-n | | | | |
| いくらもめても結局は決めないといけない | | | | |
| なんだから | /nandarasu/ | [nandarasu] | Phrase | 何だろうか |
| korja nandarasu=jaa | | | | |
| これはなんだろうか | | | | |
| にえたらくわず | /nietarakuwazu/ | [nietarakuwazu] | N | 態度がはっきりせず優柔不断、怠け者、ずるいこと |
| にぎやか | /nigijakai/ | [nig'ijakai] | ADJ | にぎやかだ |
| にすい | /nisui/ | [nisui] | ADJ | 鈍い、とろい |
| doitu=mo koitu=mo nisui jatu bakka=da=naa | | | | |
| どいつもこいつも鈍いやつばっかだなあ | | | | |
| ぬくとい | /nukutoi/ | [nukutoi] | ADJ | 温かい |
| dandan harume-ite nukuto-ku nat-te-ki-ta=nee | | | | |
| だんだん春めいて、暖かくなってきたね | | | | |

| | | | | |
|--|------------------------|-------------------------|-----|----------|
| ねがる・ねぐ さる | /negaru/ /negusaru/ | [negaru], [negusaru] | V | 腐敗する |
| gohan=ga negusat-tjat-ta | | | | |
| ご飯が腐っちゃった | | | | |
| ねき | /neki/ | [nekʲi] | N | 丁寧 |
| kitjoumen=na hito=dade nani=wo jarase-te=mo neki=dai-nee | | | | |
| 几帳面な人だから、何をやらせても丁寧だね | | | | |
| ねぐた | /neguta/ | [neguta] | N | よく寝る人、寝坊 |
| uti=no ko=wa neguta=de tikoku-bakka=da | | | | |
| うちの子は寝坊で遅刻ばかりだ | | | | |
| ねち | /neti/ | [net̞ci] | N | 歯茎 |
| neti=n un-zjatte tjotto itai=da-joo | | | | |
| 歯茎が膿んじゃって、ちょっと痛いよう | | | | |
| ねぶつ | /nebutu/ | [nebu̞tsu] | N | おでき、できもの |
| itumo ano ko nebutu=n deki-teru | | | | |
| いつもあの子おできができてる | | | | |
| のんばめる | /nonbameru/ | [nombameru] | V | 喉につかえる |
| kusuri=ga nodomoto=ni hikkakat-te nonbame-tjat-ta=i | | | | |
| 薬が喉元に引っ掛かって喉につかえちゃった | | | | |
| はあ | /haa/ | [ha:] | ADV | 既に、もう |
| hisasiburi=ni kao mi-ta=kken haa kaet-tjat-ta=da | | | | |
| 久し振りに顔を見たかったのに、もう帰っちゃったの？ | | | | |
| ばか | /baka/ | [baka] | ADV | とても～ |
| sakkaa=n toki asi=no sune ker-are-te baka itakat-ta=ze | | | | |
| サッカーの時足のすねをけられてすごく痛かったぜ | | | | |
| はさがる | /hasagaru/ | [hasagaru] | V | 挟まる |
| tabemon=ga ha=ni hasagat-tjat-ta | | | | |
| 食べものが歯に挟まっちゃった | | | | |
| はしゃぐ | /hasjagu/ | [haɕagu] | V | 乾く |

| | | | | |
|---|--------------------|-----------------------|-----|-----------|
| sentakumono=ga hasjai-da | | | | |
| 洗濯物が乾いた | | | | |
| はそ | /haso/ | [haso] | N | くちばし |
| omaen mitai-na osjaberi=o haso=ga tassja-tte juu=dajo | | | | |
| お前みたいなおしゃべりを口が達者って言うんだよ | | | | |
| はだって | /hadatte/ | [hadatte] | ADV | わざと、わざわざ |
| hadatte atama=n itai huri si-teru | | | | |
| わざと頭が痛いふりをしてる | | | | |
| はぶし・はぶ せ | /habusi/, /habuse/ | [habuʃi], [habuʃe] | N | 仲間から外すこと |
| kondo=kara habusi=ni suru=ka | | | | |
| 今度から仲間外れにするか | | | | |
| ばんげしま | /bangesima/ | [bangeʃima] | N | 夕方、晩 |
| bangesima=n nat-te doko iku=da | | | | |
| 夕方になってどこに行くの？ | | | | |
| ばんたび | /bantabi/ | [bantabi] | N | 度ごと、その都度 |
| atti=zja-a bantabi otja das-ite-kureru=ne | | | | |
| あっちでは毎回お茶を出してくれるね | | | | |
| ひずるしい | /hizurusii/ | [ʃizuɾuʃi:] | ADJ | まぶしい |
| kjou=wa baka=ni hizurusii=to omowa-n=ka | | | | |
| 今日はとてもまぶしいと思わない？ | | | | |
| ひっくりか ーる | /hikkurikaaru/ | [ʃikkurika:ru] | V | 倒れる |
| senobi-si-te-tara hikkurikaat-ta | | | | |
| 背伸びしていたら倒れた | | | | |
| ひっぽかす | /hippokasu/ | [ʃippokasu] | V | 放っておく |
| te=o dasu=na hippokas-ite-oke | | | | |
| 手を出すな、放っておけ | | | | |
| ひとつ | /hitotte/ | [ʃitotte] | ADV | 一人で、ひとりでに |
| daare-mo ika-n=to hitotte ika-njaa nara-n | | | | |

| | | | | |
|--|----------------|----------------|------|-----------------------------|
| だれも行かないから一人で行かないといけない | | | | |
| ひなる | /hinaru/ | [çinaru] | V | あまりの痛さや怖 さで悲鳴をあげる、 叫ぶ |
| suien=no itasa=dake=wa kanben=da hinat-tjau=rasii=ze | | | | |
| 膝炎の痛さだけは勘弁だ。叫んじゃうらしいぜ | | | | |
| ひんしょっ たい | /hinsjottai/ | [çinottai] | ADJ | みすぼらしい |
| anmari hinsjotta-ku si-teru=zjanai=zo | | | | |
| あんまりみすぼらしくしてるんじゃないよ | | | | |
| ぶしょっ たい | /busjottai/ | [buçottai] | ADJ | だらしない |
| anmari busjottai kakko=de iku-n=zja nai=jo | | | | |
| あんまりだらしない恰好で行くんじゃないよ | | | | |
| ぶつ | /butu/ | [butsu] | V | たたく、殴る、怪我 をする |
| kinoo hasit-ta toki koron-zjat-te hiza but-tjat-ta=i | | | | |
| きのう走ったときに転んじゃって膝を打ちちゃった | | | | |
| ぶっさ らう | /bussarau/ | [buçsarau] | V | げんこつで叩く、強 く叩く |
| ottosa=ni itazura si-tara bussaraw-are-ta | | | | |
| お父さんにいたずらしたら殴られた | | | | |
| ふんと | /hunto/ | [funtto] | N | ほんと |
| sore hunto | | | | |
| それ本当？ | | | | |
| ふん なら | /hunnara/ | [funnara] | CONJ | それなら |
| hunnara anta=no iken=mo ire-te soo-seru=ka | | | | |
| それならあなたの意見も入れてそうするか | | | | |
| べに さし ゆ び | /benisasijubi/ | [benisacijubi] | N | 薬指 |

| | | | | |
|---|------------------|------------------|--------|---------------------|
| へんたらく もない | /hentarakumonai/ | [hentarakumonai] | ADJ | 何ともない、痛くも 痒くもない |
| sonkurai=no son=o das-ite-mo hentaraku=mo nai | | | | |
| そのくらいの損を出しても痛くもかゆくもない | | | | |
| ほーがしゃ ない | /hoogasjanai/ | [ho:gacanai] | ADJ | 乱雑だ、手の付けよ うがない |
| itunomanika hoogasja-nai koto=ni nat-tjat-ta | | | | |
| いつの間にか手の付けようがないことになっちゃった | | | | |
| ぼーら | /boora/ | [bo:ra] | N | 竹かご |
| tiisai boora=demo mottet-te-mir-u=ka | | | | |
| 小さい竹かごでも持って行ってみるか | | | | |
| ほきだす | /hokidasu/ | [hokʲidasu] | V | 吐き出す |
| neko=ga nanka kut-ta mon hokidas-ita | | | | |
| 猫がなんか食べたものを吐き出した | | | | |
| ほじくる | /hozikuru/ | [hozikuru] | V | 掘る |
| sono hen boo=de hozikut-te goo | | | | |
| その辺、棒で掘ってみて | | | | |
| ぼた | /bota/ | [bota] | N | 土手、堤防、山の斜 面 |
| ぼったつ | /bottatu/ | [bottatsu] | V | 突っ立つ、ぼうっと して立つ |
| nanj-oo soko=ni bottat-te-ru=da | | | | |
| 何をそこで突っ立ってるんだ | | | | |
| ほんのりせ ん | /honnorisen/ | [honnorisen] | ADJ | はっきりしない、す っきりしない |
| itte-ru kon=ga naantonaku honnori-se-n=dai=naa | | | | |
| 言ってることがなんとなくはっきりしないんだよなあ | | | | |
| ましよくに あわん | /masjokuniawan/ | [macokuniawan] | Phrase | 割に合わない |
| abunnai sigoto=ni kono teate=zja-a masjoku=ni awa-n | | | | |

| | | | | |
|--|-------------|-------------|------|--------------------|
| 危ない仕事にこの手当じゃ割に合わない | | | | |
| まぜる | /mazeru/ | [mazeru] | V | 仲間に入れる |
| kotti=ni mazari-nai | | | | |
| こっちの仲間に入りな | | | | |
| まめったい | /mamettai/ | [mamettai] | ADJ | こまめに、労を惜しまない |
| ano hito=wa nani=o jaru=ni=mo mamettai=nec | | | | |
| あの人は何をやるにもまめだねえ | | | | |
| みだましい | /midamasii/ | [midamaci:] | ADJ | 整っている、格好がとれている、まとも |
| sotti=jori kotti=no hoo=ga mada midamasii=na | | | | |
| そっちよりこっちの方がまだまともだな | | | | |
| みるい | /mirui/ | [mirui] | ADJ | 未熟、未完成、若い |
| rippa-na koto=o it-teru=ga aitu=aa mada-mada mirui | | | | |
| 立派なことを言っているが、あいつはまだまだ未熟だ | | | | |
| めめず | /memezu/ | [memezu] | N | みみず |
| もったない | /mottanai/ | [mottanai] | ADJ | もったいない |
| sore-ppaka=de suter-u=zjaa mottanai mottanai | | | | |
| それっぽっちで捨てるんじゃあ、もったいないもったいない | | | | |
| ももね | /momone/ | [momone] | N | 股のつけ根 |
| kinoo ugoki-sugi-ta=dakai=naa kjoo tjotto momone=n itai=da=joo | | | | |
| きのう動きすぎたのかなあ、今日ちょっとモモが痛いよ | | | | |
| もんりー | /monrii/ | [monri:] | N | 子守 |
| aitu=no monrii=wo se-nja=o-en=de erai=ze | | | | |
| あいつの子守をしないとけないから大変だよ | | | | |
| やあ | /jaa/ | [ja:] | FP | ～よお |
| hajaku iku=ka=jaa | | | | |
| 早く行くとするか | | | | |
| やいやい | /jaijai/ | [jaijai] | INTJ | やれやれ、おやまあ、おいおい |

| | | | | |
|--|----------------|----------------|--------|-----------------------|
| jajjai ore=n si-ta koto=ga | | | | |
| やれやれ俺のしたことが | | | | |
| やくたいも ない | /jakutaimonai/ | [jakuṭaimonai] | ADJ | ばかばかしい |
| jakutaimonai konna koto jat-te | | | | |
| ばかばかしい、こんなことやって | | | | |
| やごい | /jagoi/ | [jagoi] | ADJ | つぶれそう、頑丈で ない、たよりない |
| korja=a jagoi tukuri=da=naa | | | | |
| これは頑丈じゃない作りだなあ | | | | |
| やたらくた ら | /jatarakutara/ | [jatarakuṭara] | ADV | やたらに、むやみに、 訳も分からず |
| jatara-kutara izekuri-mawai-te ojai-tjat-ta | | | | |
| やたら触りまくってだめにしちゃった | | | | |
| やっきりこ く(する) | /jakkirikoku/ | [jakk'irikoku] | V | 腹が立つ、しゃくに さわる |
| ikkura mat-te-mo ko-nai=damon=dade jakkiri-koi-ta=jo | | | | |
| いくら待っても来ないから腹が立ったよ | | | | |
| やっとかぶ り | /jattokaburi/ | [jattokaburi] | N | 久し振り、暫く |
| issjo=ni nomu=no=mo jattokaburi=no kon=da | | | | |
| 一緒に飲むのも久し振りのことだ | | | | |
| やといど | /jatoido/ | [jatoido] | N | 雇人、日雇い人 |
| やぶくる | /jabukuru/ | [jabuḱuru] | V | 破る |
| やらまいか | /jaramaika/ | [jaramaika] | Phrase | やろう、やろうか、 やろうよ |
| minna=de issjo=ni jara-mai-ka | | | | |
| みんなで一緒にやらないか | | | | |
| ゆるせー | /jurusee/ | [juṛuse:] | ADJ | 心が伸びやかだ、ゆ ったりする気分 |

| | | | | |
|---|------------------|---------------------|--------|---------------------|
| sinpaigoto=mo katadui-te kjoo=wa jurusee=wa | | | | |
| 心配事も片付いて今日は心が伸びやかだ | | | | |
| ゆるせくな い | /jurusekunai/ | [jʉɾʉsekʉnai] | ADJ | くつろげない、ゆっ くりできない |
| maitosi=no koto=daken zjuunigatu=wa wake=mo naku juruse-kunai=naa | | | | |
| 毎年の事だけど、十二月は訳もなくくつろげないなあ | | | | |
| ゆんべ | /junbe/ | [jʉmbe] | N | ゆうべ |
| junbja-a kjuuni joozi hait-tjat-te | | | | |
| 夕べは急に用事が入っちゃって | | | | |
| よーやと | /joojatto/ | [jo:jatto] | ADV | ようやく、やと |
| eraï zikan kut-tjat-ta=ken joojatto deki-ta naa | | | | |
| すごい時間使っちゃったけど、ようやくできたなあ | | | | |
| よさりかか る | /josarikakaru/ | [josarikakarʉ] | V | 寄り掛かる、もたれ かかる |
| sonnai josarikakat-ta manma=dato okaasan=no kata=ga kot-tjau | | | | |
| そんなに寄りかかったままだとお母さんの肩がこっちゃう | | | | |
| よせる | /joseru/ | [joserʉ] | V | 洗濯物を取り込む |
| ame huri-soo=dade sentakumono jose-toi-te | | | | |
| 雨降りそうだから、洗濯物を取り込んでおいて | | | | |
| よっつきさ つき | /jottukisattuki/ | [jottsʉkʉisattsʉki] | Phrase | 寄るたびごとに、寄 ると触ると |
| jottuki-sattuki hito=no uwasabanasi=de kii-tja ore-n | | | | |
| 寄るたびごとに人の噂話で聞いてられない | | | | |
| よど | /jodo/ | [jodo] | N | よだれ |
| kono=ko=no jodare-kake=n jodo=de ganko=ni simet-tjat-teru=da-jo | | | | |
| この子のよだれ掛けがよだれでとても湿っちゃっているよ | | | | |
| よぶ | /jobu/ | [jobʉ] | V | ごちそうに招く |
| konja oiwai=ni jobat-te=ku-rjou | | | | |
| 今夜お祝いに招いてくれよ | | | | |
| らんごく | /rangoku/ | [ragokʉ] | ADJ | 散らかし放題、乱雑 |

| | | | | |
|---|-------------|-------------|---------------|----------|
| heja=ga rangoku=de hazukasii=daken jot-te-kan | | | | |
| 部屋が散らかし放題で恥ずかしいんだけど、寄って行かない？ | | | | |
| わきゃーない | /wakjaanai/ | [wakja:nai] | ADJ | たやすい、簡単だ |
| hazimete=no koto=demo jatte-mir-jaa wakjaa-nai=jo | | | | |
| 初めての事でもやってみればたやすいものだよ | | | | |
| ん | /n/ | [N] | Case particle | ～が、の |
| sakura=n sai-ta | | | | |
| 桜が咲いた | | | | |

謝辞

本論文の執筆にあたり、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

まず、袋井市における方言調査を行うにあたり、調査協力者の募集にご尽力いただいた袋井・森地域シルバー人材センターおよび袋井西コミュニティセンターの皆様には深く感謝申し上げます。また、袋井市の方言に深く関わりを持つ話者の方を紹介して下さった静岡理工科大学の谷口ジョイ先生にも、大変お世話になりました。袋井市方言に関心を持つ多くの方々にご協力いただいたおかげで、本研究を進めることができました。

また、指導教員である下地理則先生には、ご多忙の中、調査および論文執筆にあたり終始丁寧なご指導と貴重なご助言を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。調査を進めるための基礎的な知識だけでなく、調査後の辞書作成に至るまで多大なご支援をいただき、本研究を形にすることができました。

言語学・応用言語学研究室の上山あゆみ先生、太田真理先生には、講義や演習の授業を通して言語学の基礎をご教授いただきました。あわせて、ともに卒業論文の執筆に励んだ言語学・応用言語学研究室の同期や助言して下さった先輩方にも、深く感謝いたします。

最後に、大学生活を通して私のことをいつも温かく見守り、支えてくれた家族に感謝申し上げます。